

令和4年度共同研究：報告書
持続可能な観光～マーケティング～

「サステナブル」を軸に
インバウンド旅行者の誘客促進につながるのか

2023年3月20日

TCVB

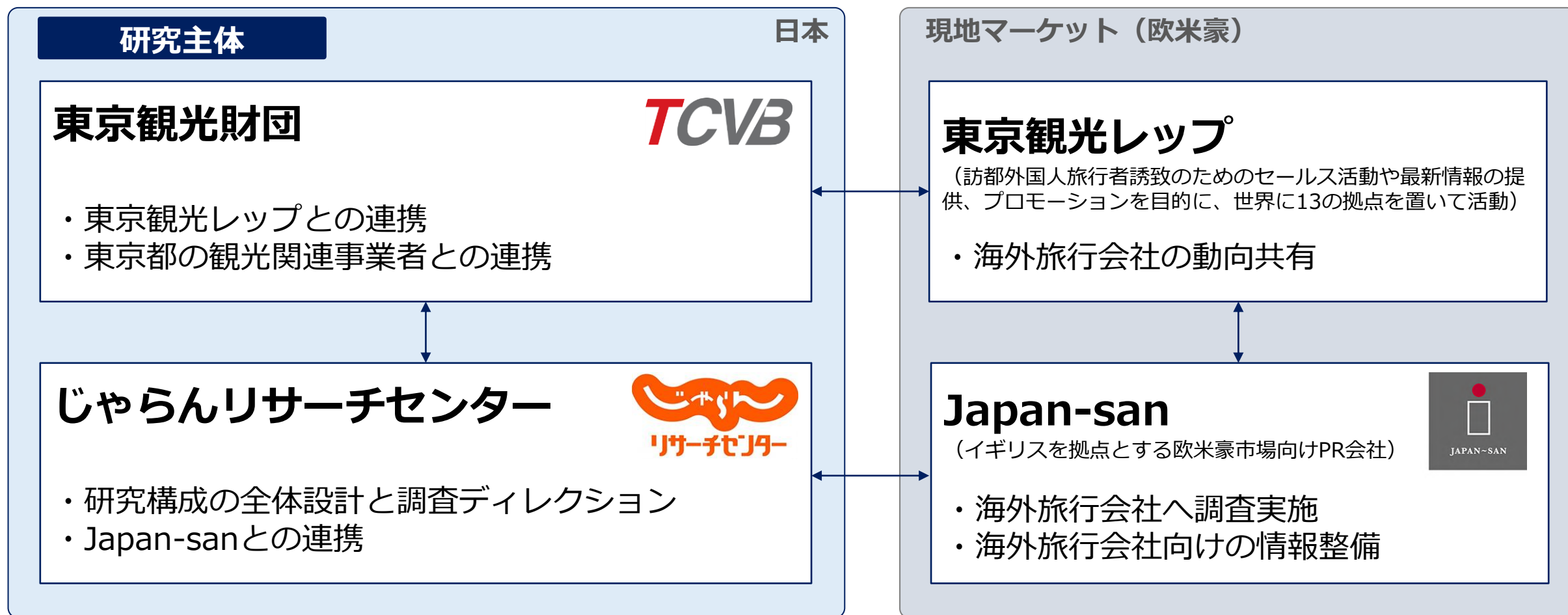
Tokyo Convention & Visitors Bureau



• 共同研究運営体制	P.3
• 「持続可能な観光」の定義と研究対象範囲	P.4
• 研究の背景・目的	P.9
• 目指したゴールイメージ	P.11
• 検証項目とステップ	P.12
• 検証結果・成果	P.13
• 「東京サステナブル情報マニュアル」作成方針と内容	P.14
• 調査①「東京サステナブル情報マニュアル」に対するアンケート調査結果	P.31
• 調査②情報を整備すべき観点についての深掘り調査結果	P.49
• 「サステナブル情報整備指南書」作成方針と内容	P.54

共同研究運営体制

東京観光財団とじゃらんリサーチセンターで共同研究。世界に13拠点を置く東京観光レップ、Japan-sanと連携することで、海外視点を取り入れながら研究を推進。



「持続可能な観光」の定義と研究対象範囲

「持続可能な観光」の定義とサステナブル分野

「持続可能な観光」とは、「訪問客、業界、環境および訪問客を受け入れるコミュニティのニーズに対応しつつ、現在および将来の経済、社会、環境への影響に十分配慮した観光」と定義される。

＜国際基準GSTC Criteriaをベースとした4分野＞

A.持続可能なマネジメント

(例) 現行のデスティネーション戦略・取組を公表していること。
リスクや危機管理について、地域内で情報を共有し、訓練を実施していること。

B.社会経済のサステナビリティ

(例) 経済データの収集についての取組を行っていること。
地域の観光事業者による農産物等の地域特産物の購入やサービスの利用を推奨する取組があること。

C.文化的サステナビリティ

(例) 文化資産の修復や保全の取組があること。
文化的な場所やその周辺で、観光による負荷に関する取組があること。

D.環境のサステナビリティ

(例) 自然的な場所における来訪者管理について、ツアーオペレーターやガイドに向けた行動基準等があること。
エネルギー消費量の目標を公表し・促進していること。温室効果ガスの排出削減目標を定め、公表していること。

出典：観光庁「日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）」
Global Sustainable Tourism Council（GSTC）Criteria

サステナブル分野 × ポジティブ／ネガティブ分類と研究対象範囲

本研究はGSTC基準における「社会経済」「文化」「環境」の誘客促進（ポジティブな動機付け）に焦点をあてて、旅行者視点での情報を整備していく。

＜国際基準 GSTC Criteriaをベースとした4分野＞

A.持続可能なマネジメント

（例）現行のデスティネーション戦略・取組を公表していること。
リスクや危機管理について、地域内で情報を共有し、訓練を実施していること。

B.社会経済のサステナビリティ

（例）経済データの収集についての取組を行っていること。
地域の観光事業者による農産物等の地域特産物の購入やサービスの利用を推奨する取組があること。

**誘客促進
（ポジティブな動機付け）**

（例）自然的な場所における来訪者管理について、ツアーオペレーターやガイドに向けた行動基準等があること。エネルギー消費量の目標を公表し、促進していること。

**受け入れ整備
（ネガティブ回避）**

本研究対象

出典：観光庁「日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）」
Global Sustainable Tourism Council（GSTC）Criteria

誘客促進（ポジティブな動機付け）

- 地域の歴史・文化を学ぶ
- 地元の食材や名物料理を楽しむ
- 先住民の文化遺産を体験する



- 地域に根付いた企業の支援をする
- 地域および国の経済への雇用と収入の提供
- 先住民のコミュニティー支援
- 地域の文化遺産や自然環境の保全
- 地域の理解や共感を深め、対立を減らす

異文化・生活様式・歴史の理解を通じて、旅行者自身の生活をより豊かにする

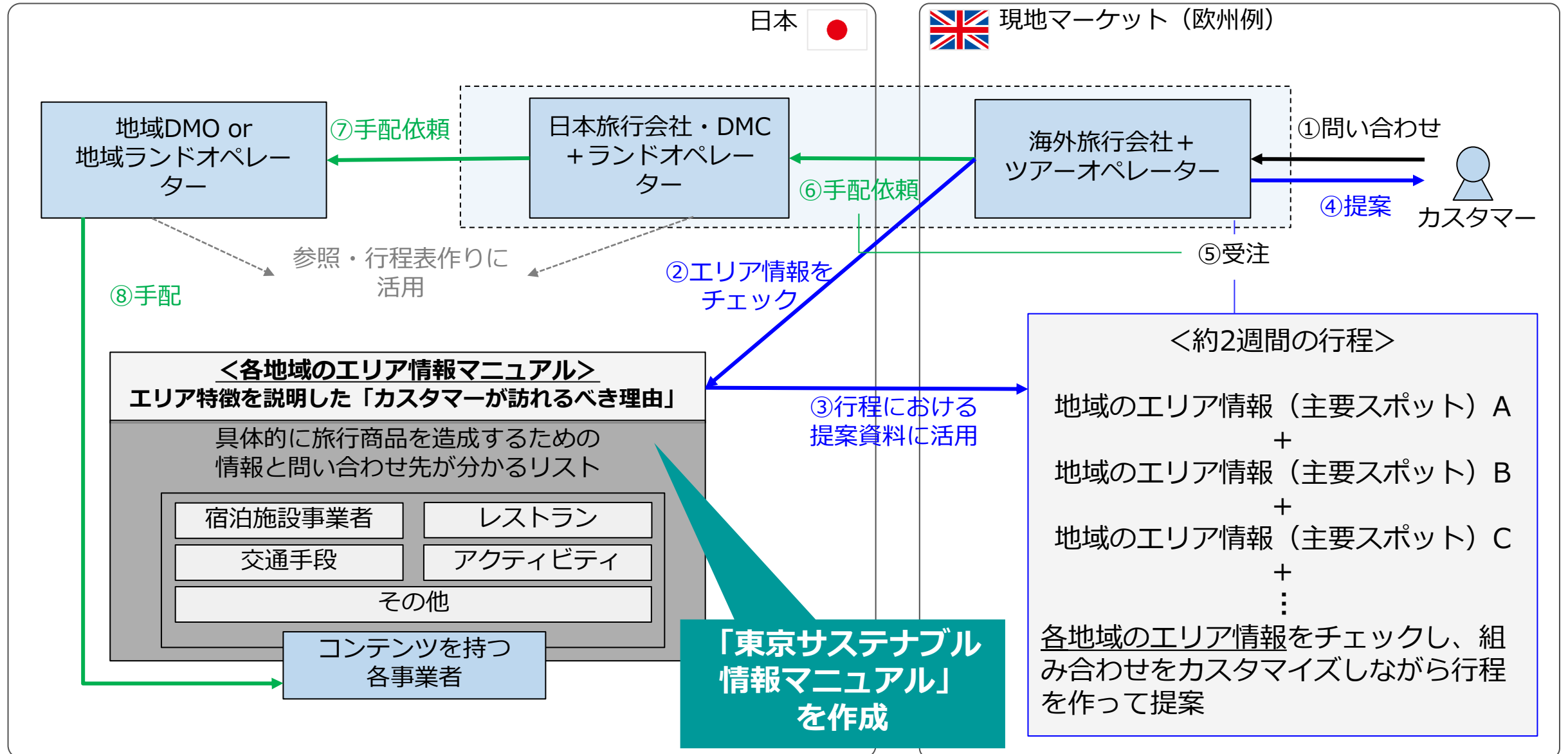
研究概要と結果

背景・目的

- 持続可能な観光地域づくりは国としても戦略の一つとして置かれている。また、欧米豪を中心として諸外国ではサステナビリティへの関心も高まっている
- 一方で日本国内の観光業におけるサステナブル対応や認証制度取得には工数や予算がかかり、エリア単位や一部の大手企業に限られる。**観光関連事業者にとってメリットが不明瞭であり、対応が進みにくい状況**である
- 急回復するインバウンドニーズの中、サステナブル対応が遅れていることによる取りこぼしに対する懸念あり
- **サステナブル対応に必要なことを明確にし、対応を積極的に推進する観光関連事業者の方を増やしていきたい（まずは東京全体で機運醸成をしていきたい）**

対象市場と商流

- サステナビリティに関する意識の高い**欧米豪の市場**を対象とする。**ミドル富裕層**（1回の旅行で着地平均100万円消費）中心に狙って、量から質の転換への寄与も目指す
- この層は、**オーダーメイド型の海外旅行会社経由で旅行を検討**することが多いため、BtoBの商流を意識した情報整備の取り組みとする



ゴール

サステナブル対応を推進する観光関連事業者が増えること

ゴール達成のために実施すべきこと

メリットの提示

誘客促進の証明

【本調査①】

海外旅行会社に東京のサステナブル関連情報を提示することで、今まで旅程に入っていないエリアでも新たに追加の可能性が高まるか証明する

具体的な方法の提示

情報整備すべき観点の明確化

【本調査②】

誘客促進するために、どのような観点で情報を整備すればよいか明確にする（持続可能な観光にまつわる各種国際認証の取得前のステップとして寄与）

	明らかにすること	調査手法	研究アウトプット
プレ調査	海外旅行会社のニーズと情報整備の仮説立て	東京観光レップ9拠点にプレアンケート調査を実施（イギリス、フランス、イタリア、スペイン、ドイツ、オーストラリア、ロサンゼルス、ニューヨーク、カナダ）	旅行会社がサステナビリティに関する考え方や求めている情報を集めて「東京サステナブル情報マニュアル」に掲載すべきテーマや情報を決定
本調査①	「東京サステナブル情報マニュアル」を旅行会社に提示することで、 <u>東京のイメージを変えられるか？</u> それによって <u>今まで旅程に入れられていないエリアでも行程追加の可能性が高まるか？</u>	欧米豪のミドル富裕層を中心に顧客を持つ旅行会社14社へのアンケート調査を実施	<u>「東京サステナブル情報マニュアル」</u> に対する満足度、東京のイメージ変容度、旅行の行程に追加するかの意向度
本調査②	誘客促進のために、 <u>どのような観点で情報を整備すればよいか？</u>	欧米豪のミドル富裕層を中心に顧客を持つ旅行会社4社への深掘りインタビュー調査を実施	観光関連事業者が情報を整備すべき観点をまとめた <u>「サステナブル情報整備指南書」</u> を作成

プレ調査

海外旅行会社のニーズと情報整備の仮説立て

＜ニーズが高い情報＞

- ・東京のリアルな暮らしや文化が感じられるスポット情報
- ・現地での文化や伝統体験を通して、どのように地域経済や文化、環境に貢献できるか
- ・サステナビリティの取り組み分野に沿ってカテゴリ別に分けたスポット情報
- ・サステナビリティに取り組むホテルの一覧

本調査①

誘客促進の証明

「東京サステナブル情報マニュアル」を旅行会社14社に提示したところ、情報マニュアルの内容に対する満足度は全社が満足と回答（5段階評価で、非常に満足が11社、満足が3社）。東京のイメージは12社が変わったと回答。新たに旅程に入れて顧客に提案したいかという質問では、14のコンテンツのうち6つのコンテンツで8割超え（そのうち3つのコンテンツは9割超え）となり、高い意向度を獲得

「東京サステナブル情報マニュアル」によって海外旅行会社が旅程に追加する確率が上がり、誘客促進につながれることを証明できた

本調査②

情報整備すべき観点の明確化

旅行行程に入りやすい要素を調査したところ、「ビジョン」「人間味」「地域コミュニティ」「地域への貢献」「歴史ストーリー」「具体事例」「世界基準の認証制度」の7つの情報整備ポイントがあることが判明

**7つの情報整備ポイントをベースに活用できる
「サステナブル情報整備指南書」を作成**

「東京サステナブル情報マニュアル」 作成方針と内容

TOKYO RESPONSIBLE TRAVEL <Trade Manual>

GSTC基準での分野を広く網羅した情報マニュアルを目指したため「Responsible Travel」をマニュアルタイトルに採用
（「Sustainable」は環境中心として捉えられることが多く、経済面も網羅したイメージとして想起されやすいのが「Responsible」）



表紙写真は、高円寺の小杉湯+小杉湯となり
（地域コミュニティー銭湯ぐらしのメンバー）
地域コミュニティーを想起できる表現として掲載

「東京サステナブル情報マニュアル」 目次と設定テーマ

プレ調査結果を踏まえて、6つのテーマ「**Slow Tokyo**」「**Rural Tokyo**」「**Made in Tokyo**」「**Eco Tokyo**」「**Boutique Hotels**」「**Responsible Hotels**」でページ展開



CONTENTS	
5.	Slow Tokyo
10.	Rural Tokyo
15.	Made in Tokyo
19.	Eco Tokyo
21.	Boutique Hotels
23.	Responsible Hotels

「Slow Tokyo」

東京＝巨大な近代的都市景観や忙しい都市生活という印象を持たれることが多いため、「Slow Tokyo」という言葉を使うことで、東京に対する新たな印象を与えることに挑戦し、需要喚起することを目指した。

「Rural Tokyo」

サステナビリティに関するテーマでは、世界的に農村の風景などが人気であるが、東京にも自然のオプションや農村がたくさんあることは知られていない。そのため、東京でも体験できる自然や農村を連想できる言葉を設定。

「Made in Tokyo」

サステナビリティに関するテーマでは、その土地でしか作れないユニークな工芸品や芸術を広めることも重要である。東京にしかない独自性をアピールすることは響きやすく、文化遺産の保護や家族経営、地域密着型企業を支援するという考えにもつながる。

「Eco Tokyo」

エコツアー、低カーボンフットプリント、自然体験は、サステナビリティの強力なテーマである。東京でも具体的にどのような活動ができるかを示すことが重要である。

「Boutique Hotels」

旅行者においては、ユニークな宿泊施設に泊まること自体が旅行体験の大きな部分になる場合が多い。サステナビリティというテーマでは大手グローバルチェーンや一般的なホテルは避けて、その場所でしか見つからないような独立した宿泊施設をサポートしたいと場合も多い。

「Responsible Hotels」

一方、成熟した旅行者には、便利で広々とした信頼できる宿泊施設の利用希望者も多い。快適さが保証され、英語を話すスタッフがいること、さらにサステナブル対応を積極的に推進するホテルを望む。そのような旅行者へのオプションとなるホテルを紹介する。

「東京サステナブル情報マニュアル」作成の意図と意思の提示



A message from TCVB:

大都市は非人間的で、小さなコミュニティのような人間味に欠けると思われることが多くあります。しかし実際には、東京も多くの都市と同様に、エネルギーで革新的なコミュニティで構成されています。そのような場所にこそ、最も興味深い見どころがあり、最高の滞在先もあるのです。私たちの目的は、このような特別な場所を旅行者に見つけていただき、楽しんでいただくことです。主要な観光ルートから離れた場所には、観光から利益を得るビジネスや人々が存在し、訪れた人の記憶に長く残るような体験をすることができます。

Travel Trade: Leading Responsible Tourism

私たちは、多くの旅行会社がレスポンスブルツーリズムに取り組んでいることを大いに尊重しています。私たちは、旅行会社の皆さまが、旅行者に影響を与え、助言し、時に教育する機会があると理解しています。私たちは、旅行業界と協力し、東京の良さを提供する旅行オプションを提案したいと思います。そして、旅行者に東京の良さを伝え、東京の人々と交流し、長期的に東京のためになるような旅行プランを提案することを働きかけたいと思います。

How responsible?

一部の大規模なホテルブランドを除いて、本マニュアルの特徴はいずれも地域密着型で小規模であるため、特定のサステナビリティ認証は受けていません。それでも、私たちはレスポンスブルツーリズムと明らかに関連している、地域のよい取り組みに注目したいと思いました。本マニュアルで取り上げている項目は網羅的なものではありませんが、「持続可能な観光」の話題が盛り上がるにつれ、より厳格な基準への適応が進むことを期待しています。私たちは、この基準が、私たちが注目する東京にスポットライトを当てることを願っています。

GSTC Criteria:

GSTC基準の分野に沿って作成していることを記載

MORE THAN A METROPOLIS

The suburbs

It may be the bright lights and the iconic images of the throbbing metropolis that bring travellers to the city, but it is the people, the culture and way of life that they fall in love with and brings them back again. While the Shibuya, Shinjuku and Asakusa are essential boxes to check, there is so much more to experience in the lesser-known suburbs.

A small leap of faith to devote time and enjoy low-key, traditional and emerging cultures, will give discerning travellers a richer and more authentic Tokyo. They will also spread the benefits of tourism away from the hot spots.



The prefecture

Beyond the city limits, Tokyo has many undiscovered attractions way beyond the ultra modernity and emerging sub-cultures one typically thinks of. In rural Tokyo you can find inherited traditional crafts, the formation of local communities and places rich in untouched nature.



東京都23区の地図

すでに認知度の高い「浅草」「新宿」「渋谷」などに加えて、「Slow Tokyo」テーマで紹介する「高円寺」「谷中」「下北沢」を記載。

併せて「羽田空港」との位置関係も分かるように入れる。

東京都全域の地図

23区の主要エリアから出ること、まだ知られざる魅力として、伝統工芸の継承、地域コミュニティの形成場所、手つかずの自然などさまざまな発見があることを訴求。「Rural Tokyo」テーマとして紹介する「奥多摩（御岳）」 「青梅」を地図に記載。



SLOW TOKYO

Immersive, authentic, off-track

Turn left, when everyone else is turning right to get under the skin of Tokyo. Whilst the majority of visitors opt to stay in Shibuya and Shinjuku, there are a few areas offering the chance to live as a local and contribute to dispersing tourism throughout the city. Relevant GSTC Criteria includes:

- Sustainable management
- Socioeconomic impacts
- Cultural impacts

KOENJI: THE ARTISANS VILLAGE

A hub of creativity and community-led loveliness




Koenji oozes character. The cosy narrow streets are home to a variety of thrift stores, vintage clothing, intimate bars and restaurants. What sets it apart is a collective of young artists & entrepreneurs with deep sense of community and a desire to allow travellers to connect with real Tokyo culture. It is perfect for those that want to set aside time in their travel to get to a deeper understanding of Tokyo people & alternative lifestyles.

The Sento Samaritan

Miho-san is your key to Koenji. She has developed the local Sento into a thriving centre for the local community. Her Kosugiyu team's innovations include: a linked workspace to the Sento, repurposing Japanese cedarwood-chippings for bathwaterscenting, superfoods and local crafts. A community post it at the Sento allows residents to share issues and solutions to foster real neighbourly support.




Insider Tour

In an exclusive arrangement for the trade, Miho-san or one of her team will give clients an insider's tour of the area and introduction to some of the community's personalities. Just mentioning them at of the bars or restaurants will ensure a heartfelt welcome.

Sento Culture

The Sento has played a huge part in communities particularly in the post-war aftermath when homes had no private bathing facilities. It was a chance for friends & families to catch-up, and for new members of the area to integrate. To this day, proud parents take their newborns to show them off to the neighbours. City life can be lonely, except in the Sento.




KOENJI: A DAY IN THE LIFE

Where to stay: BnA




For those really wanting a deep dive, this intimate artists residents, is the perfect base to immerse in the community. The vision of BnA's art director, a resident of Koenji, wanted a place the removed boundaries between visitors and locals. With only 2 modest double rooms this is far from a broad commercial proposition, but perfect for a certain type of more intrepid, artsy traveller.

Snapshots of Koenji




Koenji has plenty of experiences to offer those staying in the area or just dropping by for an afternoon or evening. It is a photographer's dream with little pockets of life compacted within several narrow streets. Other than the quirky shops, bars and restaurants, Koenji happens to be the setting for an Awa-odori street festival in the summer, where thousands flock to join in the traditional dance. It is also home to Japan's one and only "weather shrine"!



Scenes include:

- A ceremony to wish for good weather at Kisho Shrine
- Awa Odori festival in Koenji
- Street izakaya
- Front desk bar at BnA




YANAKA: YE OLDE TOKYO

Downtown Tokyo as it was

Yanaka is part of the old downtown area of Tokyo known as Yanesen. Yanaka itself is a bustling shopping street populated by visitors during the day and locals towards dusk. It has become one of the best areas for regeneration with quaint temples, narrow streets, wooden houses, cafes, stalls, and restaurants galore. Other than the main shopping street, spots to visit include an old cemetery lined with cherry blossom, Tennoji temple, with a centuries old sitting Buddha and gorgeous little back streets with long time residents going about their daily lives.



Hanare Hotel – in their own words

Our reception is located on the upper level of HAGISO where you find cafe, gallery, a salon and etc. You find your lodgings in the town. You take baths in your favorite Sento in the town. You find our recommended restaurants in the town. You find souvenir shops in shopping streets or alley. You try cultural activities in temples. You rent a bicycle in the shop. You have a breakfast at HAGI CAFE located on the lower level of HAGISO.

What to do

Yanaka is the perfect place for an explorational walk along the myriad backstreets and cultural highlights of the broader Yanesen area. For those lucky enough to be based in Hanare, they are able to give you a map of the area with their own recommendations. They also offer a guided "Town Walking Tour" to give a real insider's perspective.



SHIMOKITA: HIPSTER HEAVEN

Quirky, vibrant, cool for school

7 minutes from Shibuya, Shimokita is to hipster what Harajuku is to "kawaii". Primarily known for its staggering array of vintage clothing stores and fringe theatres, it has traditionally been a place for the youthful artsy crowd, with bars and cafes galore popping up along its narrow streets. A recently completed renovation project, the Shimokita Senrogai, worked closely with local residents and has retained the original charms of the area as well as providing the infrastructure to support more international tourism.



MUSTARD™ HOTEL SHIMOKITAZAWA

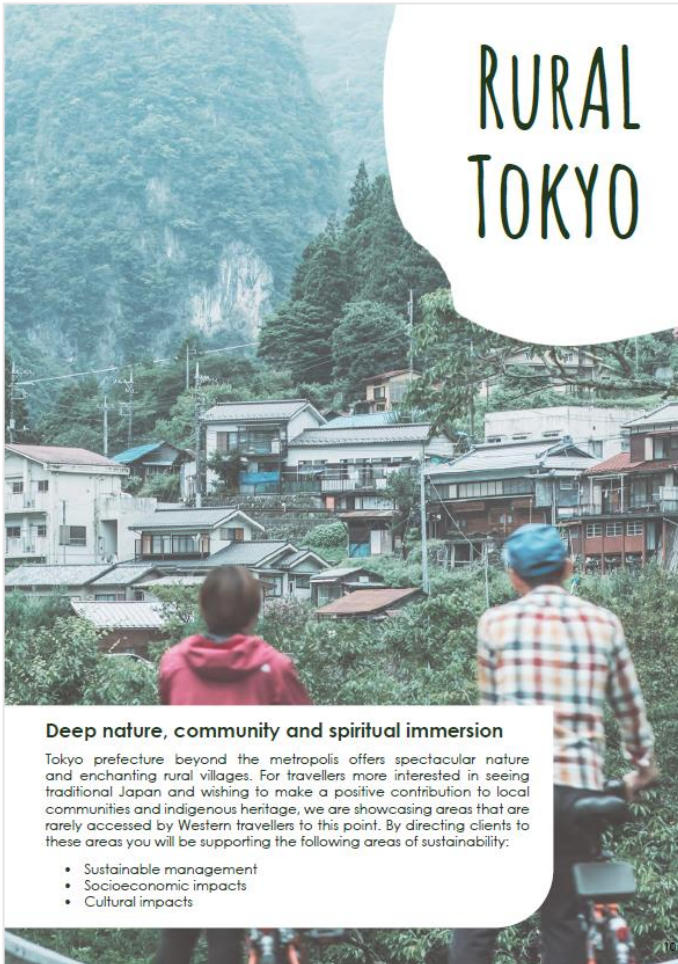
In tune with the vibe of the area, this brand new hotel is hipster to the core. Minimalist design for millennials (and under), the rooms (complete with a vinyl record player) are spacious & functional. This hotel has a strong ethos of being part of the Shimokita community, having a large onsite café used by locals and guests alike. In their words: "We try to make this hotel not only a 'place to stay', but also a 'place to enjoy the town to the fullest'."



What to do

The perfect place to "burabura" (stroll around), people-watch, explore little indie shops craft cafes & brewpubs – many hosting live music. Whether your taste is for organic, vegetarian, vegan or "oishi" restaurants you'll be spoilt for choose. Vintage clothing has been taken to another level here, not only recycling, but re-making into high fashion items. Other things to do include perusing vinyl record stores, small art galleries, flea markets. Surely that's enough!





RURAL TOKYO

Deep nature, community and spiritual immersion

Tokyo prefecture beyond the metropolis offers spectacular nature and enchanting rural villages. For travellers more interested in seeing traditional Japan and wishing to make a positive contribution to local communities and indigenous heritage, we are showcasing areas that are rarely accessed by Western travellers to this point. By directing clients to these areas you will be supporting the following areas of sustainability:

- Sustainable management
- Socioeconomic impacts
- Cultural impacts

MITAKE: SACRED SHINTO ENCLAVE

Mitake: The spirit of Tokyo

The area of Mitake on the outskirts of Tokyo prefecture is the Koyasan of Shintoism. It is built around a sacred mountain, Mount. Mitake, overlooking the whole of Kanto. Its shrine is said to ward off evil and bring good harvests and is cared for by over a dozen Shinto priest families who have formed a surrounding village. 2 hours from Tokyo in untouched nature, a visit here offers enchanting temple lodgings, abundant hiking options, unique cultural immersion and a deep spiritual retreat.



Snapshots of Mitake

A totally authentic temple stay, morning Shinto rituals, shrines steeped in folklore perfectly compliment a variety of hiking options which include:

- 1.5 hour climb up Mt. Hinode for a panoramic view over Tokyo
- A 2.5 hour trek through rock gardens, along the river and waterfalls
- A 5-hour course, up Mt Otake, for a great view of Mt Fuji

"After leaving Mitake, I realised the weight of the culture. I want to carry on the pride that has continued uninterruptedly"


Keitaro Baba, 29, is the 18th generation of Komadori Sanso, a lodge with a history of over 300 years (pictured right). After the recent passing of his father, he is determined to follow in his footsteps and help visitors access and understand the spirituality of this sacred area.




MITAKE ITINERARY



DAY 1

- Arrive at Mitake Station. Take a short bus ride to Takimoto Station then cable car to Mitake Station.
- Lunch at a soba restaurant, Momijiya
- Check in at Komadori Sanso or Higashi Baba
- Take preferred hiking course, explore the village at leisure.
- Dine on local cuisine and enjoy the unique Kagura performance (every 3rd Sunday)




DAY 2

- 6.30am – Join the priest for morning prayers and/or take a blissful early AM stroll through the Mitake Shrine
- Breakfast at accommodation before another hike of your choosing. The recommended course is a 5-hour round trip course, up Mt. Otake for a spectacular view of Mt. Fuji.





OME: RURAL REGENERATION




The Marugoto Hotel Project


This innovative project is bringing new life (and tourism) to the JR Ome line and local communities. Rarely used station buildings and traditional housing are developing into boutique accommodation. Experience showcasing cuisine, culture & natural scenery offer the chance for immersive interaction with the local community. This endeavour, passionately led by Shimada-san (pictured right), is planned for completion in 2026, but a program is available for more intrepid travellers for the end of 2023.



Snapshots of the villages






The picturesque villages dotted along the Ome line offer travellers the quaint rural community lifestyles one would expect to find in deepest untouched Shikoku. Guest are met at the train station by their concierge and offered activities which include cycling, hiking, forest bathing and foodie tours.



The area, just over an hour on a straight run from Shinjuku offers breathtaking natural scenery and 100% locally sourced cuisine. For clients passionate about sustainable tourism and connecting with untouched Japan it is unrivalled in its accessibility and originality.

Initially, only 1 lodging is available from the end of 2023, with 5-8 other boutique options under development. This manual is the travel trades very first glimpse of the project. You heard it here first :-)

OME ITINERARY (COMING SOON)



DAY 1

Arrive midday for an Ozawa Sake Brewery tour or Forest Therapy/hiking at either Noborikei Trail or Hatonosu Gorge walk.

- Check-in at Kozato Hotel
- Explore the local villages by bicycle and enjoy the hotel sauna
- Pairing dinner of locally sourced cuisine with Ozawa sake. Enjoy the peaceful rural surroundings and drinks by the evening bonfire

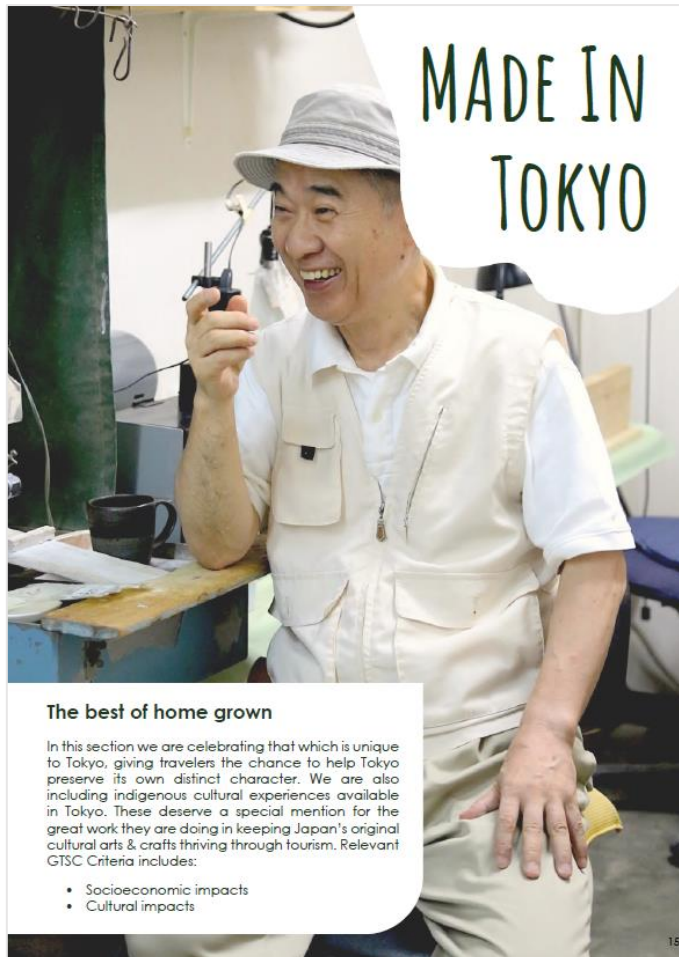




DAY 2

- Meditation time by the river
- Breakfast of fresh ingredients from Okutama & Ome
- Morning exploration of villages or trail hiking
- Lunch at recommended local café Yamahato before returning to Tokyo or onwards to Yamanashi

「Made in Tokyo」 Arts & Crafts



MADE IN TOKYO

The best of home grown

In this section we are celebrating that which is unique to Tokyo, giving travelers the chance to help Tokyo preserve its own distinct character. We are also including indigenous cultural experiences available in Tokyo. These deserve a special mention for the great work they are doing in keeping Japan's original cultural arts & crafts thriving through tourism. Relevant GTSC Criteria includes:

- Socioeconomic impacts
- Cultural impacts

ARTS & CRAFTS

Edo Kiriko - Kobayashi Studios

Edo Kiriko, now a wildly popular traditional artwork, first made its appearance in the 1800s in the capital (then known as Edo) and soon spread throughout the country. The delicate thinness & detailed craftsmanship set it apart from other glassware in the world. The Kobayashi family have continued the tradition of Japan's finest glassware for four generations. At their studio in Sumiyoshi, you can witness the masters in action in a 2 hour immersive experience.



Noh Theatre – My Taiken

One of the oldest surviving forms of theater in the world, Noh has been designated an Intangible Cultural Heritage by UNESCO. MyTaiken unveils the mysteries of the art form with a theatre that opens its doors exclusively for travellers. Its practicing Noh masters offer an introduction about the origin and meaning of Noh and a private demonstration in a 1.5 hour experience in central Tokyo. The experience can also be customised to client preferences.



TeamLab Planets Tokyo

No one showcases the wonders of nature quite like TeamLab Planets Tokyo. One of their latest masterpieces celebrates a "one of a kind" Japanese orchid - allowing visitors to immerse themselves in over 13,000 live flowers. The exhibit also inspired a Ramen dish, lavishly decorated in edible flowers, at their onsite Vegan Ramen restaurant. The exhibit has thankfully been extended until the end of 2023. Not to be missed.



Kintsugi – Wabunka

Kintsugi Life is an artistic collective formed around master kintsugi and lacquer craftspeople. Their Roppongi Hills shop, 'g KEYAKIZAKA', is the setting for an experience wherein guests can repair beloved items in a single day. They also learn about Kintsugi, which has its roots in Japanese Zen Buddhism and wabi-sabi philosophy- beauty in imperfection. This is an opportunity to learn not only the history and techniques of kintsugi, but how it expresses and has influenced Japanese aesthetics.



「Made in Tokyo」 Indigenous Culinary Arts／Responsible Restaurants

INDIGENOUS CULINARY ARTS



Sokkon Cha & Kaiseki

The tea ceremony here is an immersive but also highly innovative and truly memorable experience. Over two hours, guests will discover the culture and wonder of this mesmerising ritual but also the hospitality – the food and sake pairing – that usually surrounds the ceremony. The experience begins with a traditional omogashi sweet, followed by the tea ceremony, held inside a tiny wabi-sabi style teahouse created inside Sokkon's basement space. Located near Omotesando.

Sougo – Shojin Ryori

This is an ancient plant-based style of cooking established in the 3th century by Zen Buddhist monks. The dishes are meat free, distinctive for their beauty and purity. They convey the profound spirit of Buddhism, the beauty of the seasons, and respect for all living things. This ever so stylish restaurant in Roppongi, from chef and owner Daisuke Nomura, brings a fresh and modern approach. It also makes it accessible and "oishii" for vegans, vegetarians and meat-eaters alike. As much of the produce used is Tokyo grown scoring visitors even more good karma points.



Amezaiku

Part theatre, part sweet treat, Amezaiku are sugar sculptures that originated in 8th-century Japan. Made by pulling and shaping molten sugar, artisans would create edible, life-like sculptures with the appearance of glass. Ameshin is among few remaining makers in Tokyo and has a small workshop where visitors can learn how to make their own amezaiku, in the shape of a rabbit, in a guided, 90-minute session.

Folklore: Mixology & Terroir

A new outlet from the Mixology group, "Folklore" in Ginza applies Japanese master craftsmanship to the art of cocktails. It uses sake, tea, shochu, and domestic spirits, to make new cocktails blended with Western liquors while incorporating the *terroir* (regional culture) of the production area into the drinking vessels and ingredients.



RESPONSIBLE RESTAURANTS

Komorebi

Komorebi, located in Nerima, celebrates the quality of Tokyo-made ingredients through its French cookery techniques and the traditional craft Japanese tableware its dishes are served on. It works closely with local suppliers, and over 90% of the ingredients used at the restaurant are sourced from within Tokyo prefecture, including Nerima vegetables, Akikawa Kuroge Wagyu Beef, and Ome city river fish.



MIKUNI MARUNOUCHI

This popular French restaurant in Ginza offers healthy seasonal dishes centred on natural vegetables from Tokyo and carefully selected ingredients from all over the country. Many of its dishes feature native Edo-Tokyo vegetables to convey the important food culture that has been forgotten, and all are served on Japanese made pottery made from Japanese soil.

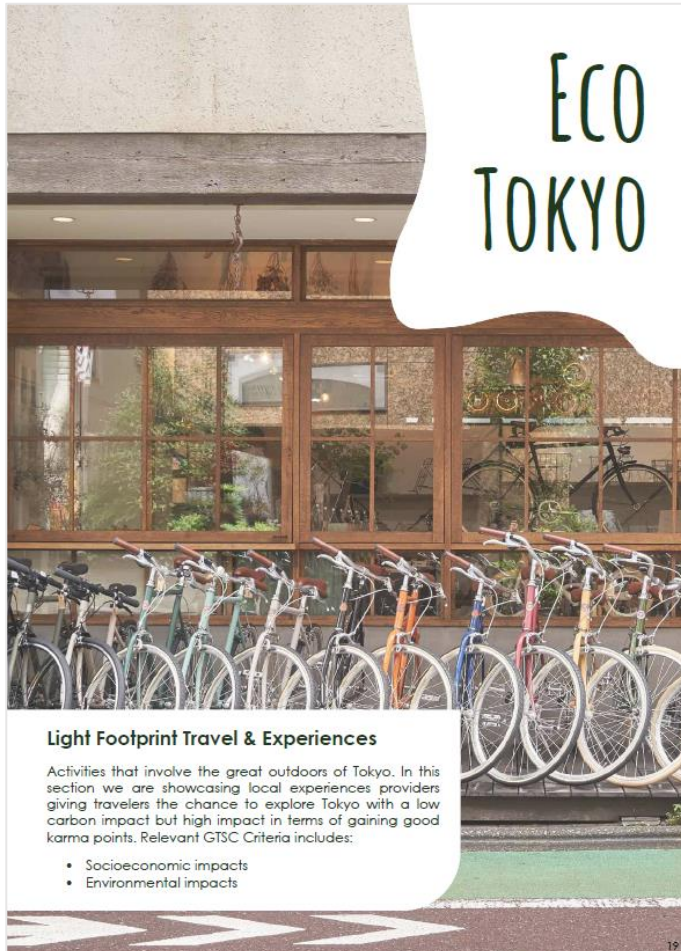
Matsunozushi. Edomae-style

Matsunozushi, one of Tokyo's most iconic sushi restaurants, started by the Tezuka family as a street stall in 1910. Four generation later, head chef Yoshi (Tezuka) will introduce guests to the history and culture of Sushi, while serving a combination of the freshest fish, fine Edo-Style Sushi craftsmanship, and delicate Japanese cuisine. They are also featured in the [blue seafood guide](#) for using ethically sourced seafood.



Ae – Ash

Located in Shibuya, Ash is a minimalist zero-waste café-bar serving drinks and snacks. Everything it does is with sustainability in mind – uniforms are made from recycled paper, menus and payments are digital, leftover ingredients such as citrus peels are used to create their zero-waste classic cocktails, and coffee grounds are donated to local farms to use as compost.



Eco TOKYO

Light Footprint Travel & Experiences

Activities that involve the great outdoors of Tokyo. In this section we are showcasing local experiences providers giving travelers the chance to explore Tokyo with a low carbon impact but high impact in terms of gaining good karma points. Relevant GTSC Criteria includes:

- Socioeconomic impacts
- Environmental impacts

ECO TOURING

Tokyo Bike Rentals

Now a global brand, making and renting out bikes, it has humble origins in Yanaka, where it developed the concept of "Tokyo Slow" - immersive, low impact travel around the city. Its current flagship store, located 15 minutes from Tokyo station in Kiyosumi-Shirakawa. It's a great place to start the day with quality coffee, countless ideas for the day ahead and a colourful range of bicycles for touring the streets of Tokyo. Naka-meguro, one of the best kept secret viewing spots for sakura is another option for a 1 day bike rental.

DIG Tokyo Tours

Koenji resident Andy, launched DIG Tokyo Tours with the aim of crafting unique, socially responsible and immersive experiences in the captivating local neighbourhoods on Tokyo's inner west-side. A solo operated Tokyo cycling, street-food and walking tour provider, Andy can remove any FOMO* by using his in-depth insider knowledge and network to provide unforgettable, authentic local experiences.

**Fear of missing out*

Tokyo Great Kayaking Tour

Its 5 routes of the city include an evening tour to see the spectacular illuminations over the Sumida River and a special cherry blossom route along sakura lined canals. These tours offer a unique way to interact with a local guide, see major landmarks and attractions, and learn the history of the city. The same company also offer fantastic cycling tours in which the guides place an emphasis on educating travellers on local history and culture, as well as exploring off-track Tokyo.

Tokyo Terra Farm

Have the chance to be utterly overwhelmed by cuteness at this delightful community farm experience provider. Mainly designed to encourage increased connectivity with food sources and more time outdoors for children, Tokyo's Earth farm offers year round harvesting opportunities for all willing participants, including international tourists. Located near Orme on the outskirts of Tokyo, it is a little inaccessible and at present best-suited to the most determined of intrepid, ethical travellers.



TOKYO ORIGINALS



Ito Ryokan
A 70 year old Japanese-style home in Nihonbashi Ningyocho offering a true homely experience: the fragrance of the tatami & wooden interior; exchanges of "Tadama" & "Okaeri" between guests & staff; cultural activities such as "shamisen", calligraphy, tea ceremony, cooking and "rakugo". In August 2023, a VIP room with a "tsuboniwa" garden will be opened.



Araiya
Live like a local in your own "machiya" (traditional wooden townhouse), tucked away in a residential area of central Tokyo. However, very few residents get to live in the historic style and ambiance that Araiya – once a rice shop serving the local community – delivers. Up to a maximum of five guests are looked after by their very own concierge.



K5
Perhaps Tokyo's most fashionable small boutique hotel at the moment, the K5 in the storied Nihonbashi area proudly boasts of its ethical, low-impact approach – "existing with nature in the city". There are only 20 rooms, each and every one of them unique and utterly awesome, and you'll also find a restaurant and 'beer-hall' style bar. For the seriously-hip – and ethical – only.



Cyashitsu Ryokan Asakusa
It only takes a brief glance at the website to know 'they got it right'. Small and intimate, modern yet ever-so-tasteful, always welcoming and close to many of the capital's big-ticket sights in Asakusa. A truly boutique experience, the antitheses of a large mega-chain-hotel.



Andon Ryokan
When it opened as "Tokyo's first designer ryokan" twenty years ago, the idea was to welcome overseas guests as a local. And this is why they invite you to eat, as they do, from the family table when you visit 'Andon' – this is an immersive, insiders Japan-experience.

「Responsible Hotels」



RESPONSIBLE HOTELS

Hotels setting an example

With an abundance of hotels to choose from in Tokyo, we have reviewed the policies and accreditations of many of the major hotels and hotel groups to identify those that place an emphasis on sustainable policies. This list is not exhaustive so please be sure to consider other hotels for yourselves. This is just to give you a bit of a head start. Relevant GTSC Criteria includes:

- Sustainability Management
- Socioeconomic impacts
- Cultural Impacts
- Environmental impacts

23

RESPONSIBLE HOTELS



ANA InterContinental Tokyo

Located in Akasaka, the hotel has been actively driving awareness of the importance of social responsibility. ANA InterContinental Tokyo has been steadily implementing multiple actions to enforce sustainability to become a socially responsible organization. This includes "IHG Green Engage", an online environmental sustainability system to measure and manage the impact on the environment and food resource recycling using compost production equipment.



The Capitol Hotel Tokyo

The flagship hotel of the Tokyu group, The Capitol Hotel Tokyo, was Japan's first global brand hotel in 1963, just prior to the Tokyo Olympic games. It now leads the way with a comprehensive sustainability strategy including a Green Coin and Green Card Programme, wooden straws and initiatives targeting sustainable gastronomic practices.



Hotel Chinzanso Tokyo

A tranquil oasis in the bustle of Tokyo, built in an area with rich and colorful 700-year history. Culture and history abound along the lush garden that have been preserved by its owners over the generations. The love of nature is apparent in the myriad eco-friendly activities including plastic reduction, flora & fauna preservation and youth engagement programs in the hotel gardens.



Hotel Gajoen Tokyo

Upon its opening in 1928, it became a hotspot for Tokyo's high society. It has since been carefully transformed to a boutique hotel with enchanting Japanese traditional art throughout the premises and tranquil Japanese gardens. By day, explore its surroundings - the ever so hip Meguro - filled with local shops and cafes, with a canal lined with cherry blossoms in spring.



Keio Plaza Hotel Tokyo

As solid, trusty and reliable as they come. As a staple hotel for much of the travel trade it is great to see that the Keio is Ecomark accredited and thorough in its SDG policies. They include commitments to a barrier free and universal service for guests, extensive eco measures including its own water purification facility. There are also progressive work satisfaction options for employees.

24

「Responsible Hotels」

RESPONSIBLE HOTELS

Imperial Hotel, Tokyo

Founded in 1890, the hotel has a rich story to tell, inheriting Frank Lloyd Wright's design and welcoming numerous celebrities and heads of state, including Marilyn Monroe. It is EcoMark certified and has published a comprehensive sustainability report as part of its commitment to the SDGs since 2020, and this year it presented a decarbonisation roadmap.



Mitsui Fudosan Hotel Management Co., Ltd.

This hotel group have accredited properties all around Japan, including Tokyo, under the Mitsui Garden Hotels, The Celestine Hotels, and sequence brands. All of these progressive, modern chains have set six goals to focus on including local produce and consumption, reduction of plastic resources and environmental impact, and implementation of social contributions.



Hotel New Otani Tokyo

Since its opening in 1964, harmonizing with the environment has been a priority for the hotel and included a major remodelling of "The Main" building, completed in 2007. Prior to this their "Hybrid Hotel Project" was launched, which included energy saving aircon & kitchen systems, a biotope stream in its garden to attract fireflies, a water recycling plant and composting from their own kitchen. The composting produces vegetables which served at some of their restaurant.



NOHGA HOTEL (UENO/AKIHABARA)

Super trendy hotels in lesser known bases in Tokyo. A good match for a younger demographic in terms of aesthetic and ethos. A strong focus on supporting the local neighbourhood, maximizing greenness, and eco-friendly energy control and waste measures.



The Okura Tokyo

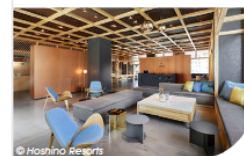
"A hotel with Japanese characteristics that will satisfy distinguished guests from all over the world" was the vision of founder Kishichiro Okura (1882-1963). To this day its commitment to showcasing Japanese beauty, culture and originality runs through comprehensive eco & socially responsible policies.



RESPONSIBLE HOTELS

OMO5 Tokyo Otsuka by Hoshino Resorts

Hoshino Resorts is using its considerable pulling power to base and engage clients in the lesser known area of Otsuka. The hotel is as much, if not more, about showcasing the area than the property itself - making a concerted effort to strengthening cooperative relationships with local restaurants, cafes, bars, shops, museums, and other businesses.



Palace Hotel

A Tokyo icon - situated at 1-1-1 Marunouchi overlooking the Imperial Palace Gardens with a legacy going back more than half a century. From the distinctive "omotenashi" to the subtle Japanese touches throughout, the wholly Japanese-owned and managed hotel is home-grown through and through. Their sustainability practice extends to food & plastics waste reduction, community initiatives, preserving culture & art and decarbonising.



RIHGA Royal Hotel Tokyo

RIHGA Royal Hotel Tokyo is situated in Waseda, a land of culture and tradition, adjacent to Okuma Garden offering beautiful views of the season's landscapes. As well as having an EcoMark, it also offers extensive information on its Eco practices - plastic minimisation, reducing food waste, biodegradable straw and paperless operations.



Shiba Park Hotel

A pioneer in wearing its heart on its sleeve in its desire to connect people, towns and history through a "library hotel" concept. It has a juicy SDGs related policy that is particularly comprehensive on environmental. Examples include Millenium Organics Amenities (plant based and chemical free), Eco amenities (avoiding plastic usage), Bamboo materials, Rainforest Alliance certified products and recycled paper water bottles! Bravo.



Super Hotel Premier

An ultra-modern Japanese hipster chain advocating LOHAS (lifestyles for health and sustainability) and services based on the themes of "natural", "organic" and "smart". It is characterized by efficient, eco-friendly services and also healthy breakfast in their restaurants.



認証取得ホテルリスト／マニュアル紹介事業者リスト

CERTIFIED HOTELS

Hotel Name	Standard	URL (related to sustainability)
HOTEL NIWA TOKYO	Eco Mark	https://www.hotelniwa.jp/hospitality/stay/safety.html
IMPERIAL HOTEL TOKYO	Eco Mark	https://www.imperialhotel.co.jp/en/pdf/sustainability_report_2024.pdf
KEIO PLAZA HOTEL TOKYO	Eco Mark	https://www.keioplaza.com/sdg/index.html
mesm Tokyo Autograph Collection	Sakura Quality An ESG Practice Standard	https://www.gstcouncil.org/sakura-qual-ty-an-esg-practice-standard-gstc-recognized/
Millennium Mitsui Garden Hotel Tokyo	Eco Mark	https://corp.gardenhotels.co.jp/en/environment/
Mitsui Garden Hotel Ginza Premier	Eco Mark	https://corp.gardenhotels.co.jp/en/environment/
Mitsui Garden Hotel Ginza-gochome	Eco Mark	https://corp.gardenhotels.co.jp/en/environment/
Mitsui Garden Hotel Gotanda	Eco Mark	https://corp.gardenhotels.co.jp/en/environment/
Mitsui Garden Hotel Jingugaien Tokyo Premier	Eco Mark	https://corp.gardenhotels.co.jp/en/environment/
Mitsui Garden Hotel Kyobashi	Eco Mark	https://corp.gardenhotels.co.jp/en/environment/
Mitsui Garden Hotel Nishinabashi Premier	Eco Mark	https://corp.gardenhotels.co.jp/en/environment/
Mitsui Garden Hotel Ottemachi	Eco Mark	https://corp.gardenhotels.co.jp/en/environment/
Mitsui Garden Hotel Roppongi Tokyo Premier	Eco Mark	https://corp.gardenhotels.co.jp/en/environment/
Mitsui Garden Hotel Shiodome Italia-gai	Eco Mark	https://corp.gardenhotels.co.jp/en/environment/
Mitsui Garden Hotel Toyosu PREMIER	Eco Mark	https://corp.gardenhotels.co.jp/en/environment/
Mitsui Garden Hotel Ueno	Eco Mark	https://corp.gardenhotels.co.jp/en/environment/
NOHGA HOTEL AKIHABARA TOKYO	Eco Mark	https://nohga-hotel.com/akihabara/en/about-us/environment/
NOHGA HOTEL UENO TOKYO	Eco Mark	https://nohga-hotel.com/ueno/en/about-us/environment/
PALACE HOTEL TOKYO	Eco Mark	https://en.palacehoteltokyo.com/hotel-sustainability/sustainability-essence/
RIHGA ROYAL HOTEL TOKYO	Eco Mark	https://www.rhga.co.jp/en/sustainability/
sequence MIYASHITA PARK	Eco Mark	https://corp.gardenhotels.co.jp/en/environment/
sequence SUIDOBASHI	Eco Mark	https://corp.gardenhotels.co.jp/en/environment/
Super Hotel Premier Akasaka	Eco Mark	https://www.superhoteljapan.com/en/otaku/sbasu-stay/
Super Hotel Premier Tokyo-eki Yaezu Chujo-guchi	Eco Mark	https://www.superhoteljapan.com/en/otaku/sbasu-stay/
Super Hotel Premier Ginza	Eco Mark	https://www.superhoteljapan.com/en/otaku/sbasu-stay/
THE CELESTINE GINZA	Eco Mark	https://corp.gardenhotels.co.jp/en/environment/
THE CELESTINE TOKYO SHIBA	Eco Mark	https://corp.gardenhotels.co.jp/en/environment/
The Peninsula Tokyo	EarnCheck	https://www.peninsula.com/en/global-pages/sustainability

Hotels are certified either:

- by GSTC-Recognized standards for Hotels
- ecolabels
- (As of 10/03/2023)

GSTC-Recognized Standards for Hotels
Eco Mark Program (JEA)

27

CONTENTS

Theme	Area	Item Type	Name & URL
Slow Tokyo	Koenji	experience	Koagijuu
	Koenji	accomodation	SnA
	Yanaka	accomodation	hanare
	Shimokitazawa	accomodation	MUSTARD™ HOTEL SHIMOKITAZAWA
Rural Tokyo	Mitake	accomodation	Komadori-anso
	Mitake	accomodation	Higashibaba
	Ome	accomodation	Marugoto Hotel Project
Made in Tokyo - Arts & Crafts	Ginza	experience	Nish Theatre
	Sumiyoshi	experience	Edo Kikyo
	Toyosu	experience	TeamLab Planets Tokyo
	Roppongi	experience	Wabunka
Made in Tokyo - Indigenous Culinary Arts	Aoyama	experience	Sakkan Cha & Kaiseki
	Roppongi	restaurant	Souga - Shojin Ryori
	Asakusa	experience	Amesaku
	Ginza	restaurant	Muology
Made in Tokyo - Responsible Restaurant	Nerima	restaurant	Komorebi
	Ginza	restaurant	Mitsui MARUICHI
	Omori	restaurant	Matsunawabi
	Shibuya	restaurant	Ate - Ash
Eco Tokyo	Eiyosumishirakawa & Nakameguro	experience	Tokyo Bike Rentals
	Koenji	experience	Cycling Tours
	Nishinabashi	experience	Kayaking
	Okutama	experience	Tokyo Terra Farm
Boutique Hotels	Nishinabashi Ningyocho	accomodation	Ita Ryokan
	Takanawa	accomodation	Anaya
	Nishinabashi	accomodation	Ed
	Minowa	accomodation	Andon Ryokan
Responsible Hotels	Asakusa	accomodation	eva shitsu ryokan
	Akasaka	accomodation	Alia InterContinental Tokyo
	Akasaka	accomodation	The Capital Hotel Tokyo
	Edogawabashi	accomodation	Hotel Chiranso Tokyo
	Meguro	accomodation	Hotel Gajoen Tokyo
	Shinjuku	accomodation	Keio Plaza Hotel Tokyo
	Ginza	accomodation	Imperial Hotel Tokyo
	Multiple locations	accomodation	Mitsui Fudosan Hotel Management Co., Ltd.
	Akasaka	accomodation	Hotel View Otari Tokyo
	Ueno	accomodation	NOHGA HOTEL UENO TOKYO
	Akihabara	accomodation	NOHGA HOTEL AKIHABARA TOKYO
	Tanomon	accomodation	The Otuka Tokyo
	Otsuka	accomodation	OMOS Tokyo Otsuka by Hashino Resorts
	Marunouchi	accomodation	Palace Hotel
	Waseda	accomodation	RIHGA Royal Hotel
	Hamamatsucho	accomodation	Shiba Park Hotel
	Multiple locations	accomodation	Super Hotel Premier

How to contact:

Please talk to your Japan DMC about making contact with the local suppliers. If they/you need further info please get in touch with Japan-san at the following address: contact@japan-san.net

28

調査①「東京サステナブル情報マニュアル」 に対するアンケート調査結果

【調査対象】

欧米豪のミドル富裕層を顧客としていて訪日旅行商品を取り扱っている旅行会社
事業開発マネージャー・商品責任者・トラベルデザイナー中心

【調査時期】

2022年12月14日（水）

【プレゼン手法】

ウェビナーを開催して「東京サステナブル情報マニュアル」を投影しながら詳細情報を説明

【アンケート回収方法】

ウェビナー開催後「東京サステナブル情報マニュアル」に関するアンケートを送付して回答

【アンケート回収数】

14名（14社）

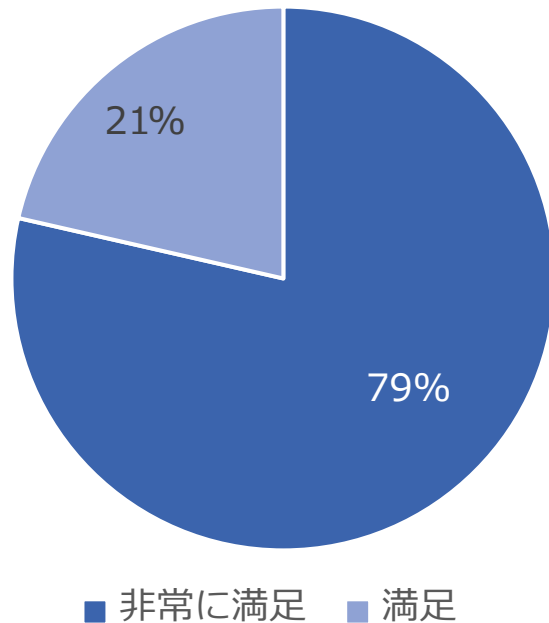
調査①「東京サステナブル情報マニュアル」に対するアンケート調査結果

旅行会社100%が「東京サステナブル情報マニュアル」に満足と回答（非常に満足11社、満足3社）。
東京のイメージは86%が変わったと回答。

<質問 1>

情報マニュアルの内容は満足しましたか？

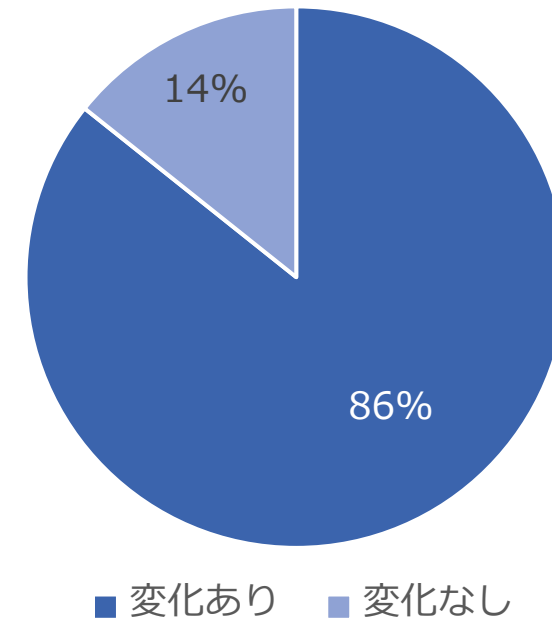
（選択肢：非常に満足／満足／普通／やや不満足／不満足） n=14



<質問 2>

東京のイメージに変化はありましたか？

（選択肢：変化あり／変化なし） n=14



<質問2>

東京のイメージに変化はありましたか？（フリーコメント抜粋）

- ・ 以前は知らなかった情報を入手できました。
- ・ 持続可能なオプションとより没入型の体験があるのは素晴らしいことです。
- ・ 通常知らない情報として新しいエリア／体験／場所があり、顧客に提案できることは素晴らしいことです。私はこの取り組みに大賛成です。
- ・ 産業的な東京のイメージを持っていたのですが、今回のプレゼンテーションで、まだまだ違う側面があることを知りました。
- ・ 東京が持続可能な観光を促進するために懸命に取り組んでいることについて、私の知識を本当に広げてくれました。
- ・ 今まで知らなかった東京の一面。自分とお客さまの東京のイメージに知識と価値が付加されました。
- ・ プレゼンテーションで取り上げられた地域について学べたことはうれしく、東京周辺でかなりの数の日帰りツアーを作成できることは、ゲストを満足させることができると思います。知って本当に良かったです。
- ・ 御岳と青梅の宿泊施設はとても斬新で新しい発想です。
- ・ 体験／職人／飲食店などの詳細レベルは素晴らしいです。このマニュアルでなければ、これらの場所を見つけられる方法はありません。
- ・ 顧客が東京の他の地域を発見し、興味のある新しい分野や責任ある企業や取り組みを見つけるのに役立つ方法を聞くのは、いつでも素晴らしいことです。
- ・ 訪れるのが大好きな街ですが、多くの新しいことを学びました。BBCの東京に関する情報よりもずっと素敵なイメージが持てました。

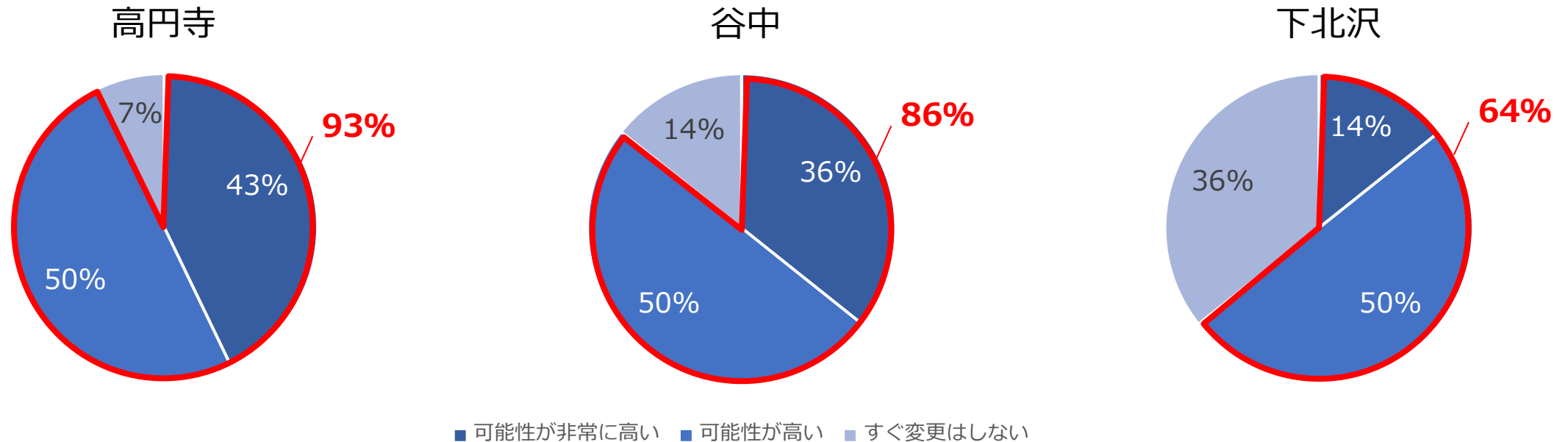
調査①「東京サステナブル情報マニュアル」に対するアンケート調査結果

「Slow Tokyo」で掲載したエリアを旅程に含める可能性として、高円寺93%・谷中86%・下北沢64%となった。特に高円寺は9割を超えて高い意向度を獲得できた。

<質問3>

「Slow Tokyo」掲載内容について旅程に含める可能性はありますか？

(選択肢：可能性が非常に高い／可能性が高い／すぐ変更はしない／可能性が低い／すでに旅程に含まれている) n=14



＜質問3＞

「Slow Tokyo」掲載内容への評価ポイント（フリーコメント抜粋）

- 私たちの顧客は50歳以上が多い傾向があるので、おそらく高円寺と谷中が特に好きでしょう。私たちが常に旅程に追加しようとしているレベルの専門知識を示してくれています。
- ここの芸術的な観点が大好きです。私たちの顧客は人里離れた場所が好きなので、彼らが経験するのに最適です。私たちは年配の顧客に対応する傾向があるため、彼らははやりのバーなどに集中することはありませんが、他の要素はマッチしそうです。
- これらのエリアをカバーする「まだ知られていない東京」の日帰りツアーのアイデアをより積極的に提案するつもりです。
- 私の顧客は質の高い宿泊施設を楽しんでいますが、加えて「本物の街」を訪問し、その歴史と文化に感謝したいと考えています。高円寺と谷中はその両方を豊富に取り揃えています。
- 私たちの顧客は年配です。彼らは文化、経験、地元の人々との交流を高く評価しています。そのため下北沢は若者の方が合うかもしれません。
- 私はウェビナーの情報をを使用して、旅程にこのエリアを含めて顧客向けに旅行を調整するつもりです。私の顧客はユニークな体験に非常に興味があります。
- これらの情報は、本物の東京体験を見つけるのに役立ちます。
- 特定の顧客に合わせてより深く情報を提供して、より楽しんでもらうことができます。

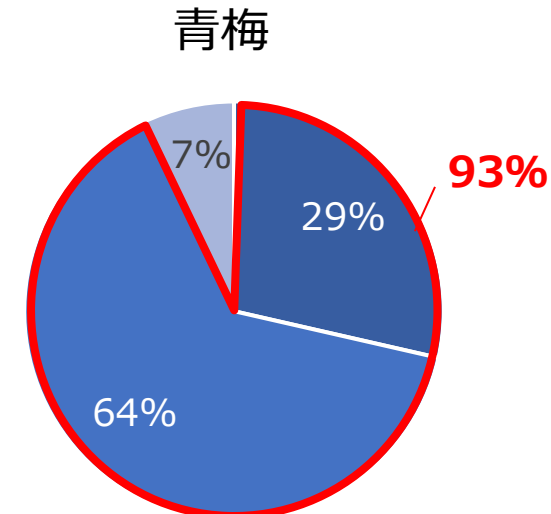
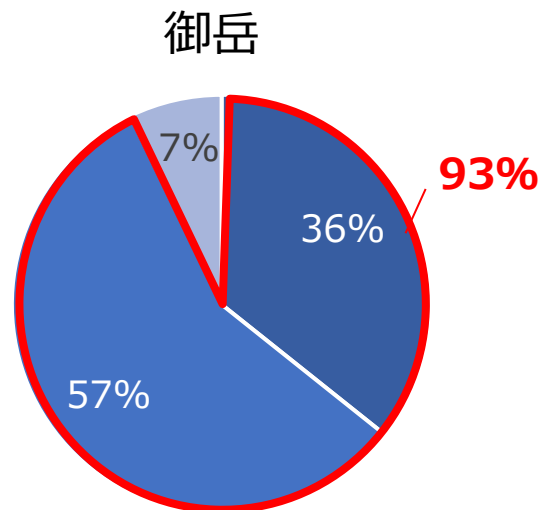
調査①「東京サステナブル情報マニュアル」に対するアンケート調査結果

「Rural Tokyo」で掲載したエリアを旅程に含める可能性として、御岳93%・青梅93%となった。両方とも9割を超えて高い意向度を獲得できた。次ページのコメントより、日本に深い関心がある顧客や訪日リピーター中心の提案になる可能性が高い。

<質問4>

「Rural Tokyo」掲載内容について旅程に含める可能性はありますか？

(選択肢：可能性が非常に高い／可能性が高い／すぐ変更はしない／可能性が低い／すでに旅程に含まれている) n=14



■ 可能性が非常に高い ■ 可能性が高い ■ すぐ変更はしない

<質問4>

「Rural Tokyo」掲載内容への評価ポイント（フリーコメント抜粋）

- これらの取り組みは、私たちがツアーオペレーター／DMC業務で情報収集していることに非常に直結しています。より広い東京エリアで追加のオプションを開発しようとしているので、特にこのスポットに関する詳細な情報が欲しいと思います。
- このエリアは、通常よりも少ない日数で日本に滞在する顧客にとって、東京主要都市エリアに近くて便利な安らぎの場所となります。
- 御岳の宿坊のようなエリアは、ニーズの高い顧客にとって素晴らしい追加オプションとなるでしょうし、東京の玄関口にいることは大きなプラスです。青梅と滞在中に体験できる具体的な情報をもっと欲しいです。
- 本物の宿坊滞在と自然に浸ることは、私たちの顧客にとって本当に魅力的です。
- 私たちは小さなAGTであり、毎年プログラムを変更しています。2023年に予定されている一つのツアーに合わせてすぐ検討します。
- 私たちの顧客には、ハイキングと宿坊滞在が魅力的です。私は青梅のまろごとホテルのコンセプトがとても好きで詳細を楽しみにしています。
- 訪日旅行リピーターの顧客は、卓越した自然の美しさがあること、休息とリラクゼーションを含む体験を求めている、マッチすると思います。
- 私はこのアイデアが大好きで、顧客が素晴らしい一日を過ごすための提案となるに違いありません。ただし典型的な3泊の東京滞在に含める理由にするのは困難です。これは「含めたいが、そうする機会はまれだろう」という意味です。訪日旅行リピーターの顧客中心の提案になるかもしれません。
- サステナビリティを創り出すための知識として、顧客へのプロモーションに最適です。

調査①「東京サステナブル情報マニュアル」に対するアンケート調査結果

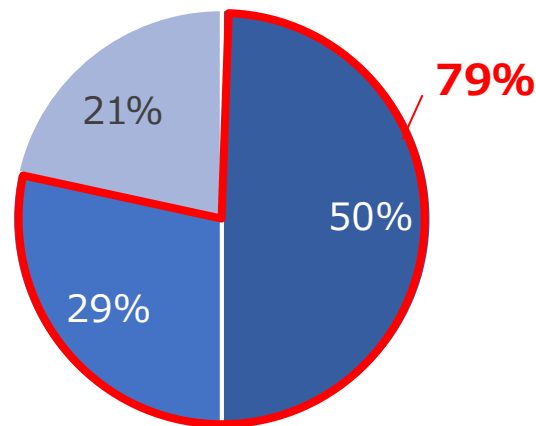
「Made in Tokyo」で掲載したエリアを旅程に含める可能性として、アート&クラフト79%・食文化86%・レスポンシブルレストラン86%となった。次ページのコメントより、選択肢が広がるオプションとして 職人技術、環境配慮、地域食材の活用などの情報が求められている。

<質問5>

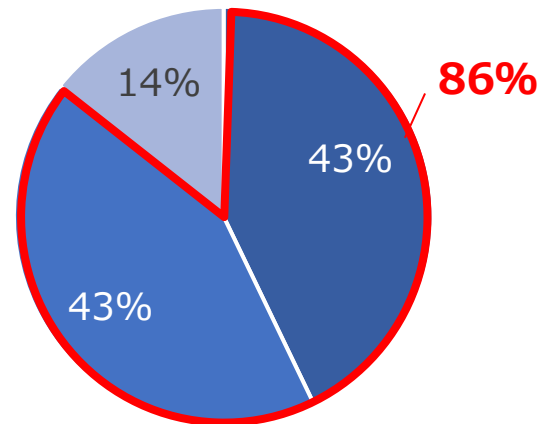
「Made in Tokyo」掲載内容について旅程に含める可能性はありますか？

(選択肢：可能性が非常に高い／可能性が高い／すぐ変更はしない／可能性が低い／すでに旅程に含まれている) n=14

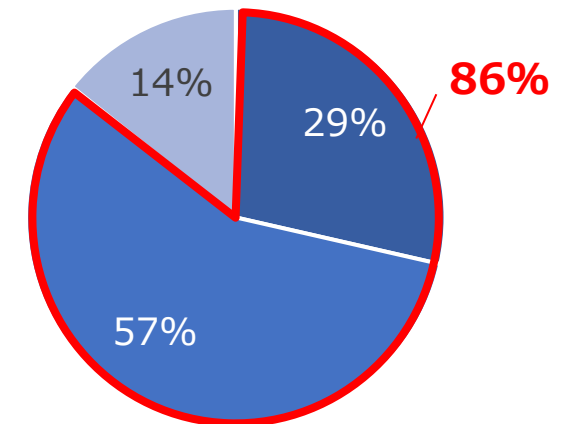
Arts & Crafts



Indigenous Culinary Arts



Responsible Restaurants



■ 可能性が非常に高い ■ 可能性が高い ■ すぐ変更はしない

<質問5>

「Made in Tokyo」掲載内容への評価ポイント（フリーコメント抜粋）

- 私たちの顧客は、さまざまな食事体験やレストランについて知ることを喜びます。価格に関する詳細情報、一度に収容できるゲスト数、FITのお客さまにのみ適したオプションなのか、それとも小グループやプライベートグループツアーのお客さまに適しているのかなど、さらに具体的な情報があると役立ちます。
- 環境に配慮した選択に対する需要は高まっていますが、全てにおいて普及していない状況です。そのため、選択肢があることは潜在的な顧客を後押しするのに有効です。
- 間違いなく顧客が求める情報です。茶道の体験情報が際立っていました。
- これらの情報は予約情報だけでなく、マーケティング資料としても機能します。レスポンシブルレストランは特に高く評価しました。
- 特に地元で調達された食材を使った料理に焦点を当てた情報は非常に重要です。
- 和食、洋食、とにかく厳選したお店を利用するようにしています。私たちは常に芸術や工芸を含む多くの文化活動を旅程に取り入れています。
- 顧客の要望に合わせて提案することができる情報です。
- 人々はさまざまな経験を積むことに熱心であり、このような情報は顧客の期待と一致していると感じます。
- 私の顧客は芸術、工芸、美食について学びたいと思っています。日本の職人のスキルを高く評価したい顧客に素晴らしいアイデアとして提供できると思います。
- アートと料理を重視するプロモーションの際に、焦点を当てたいです。

調査①「東京サステナブル情報マニュアル」に対するアンケート調査結果

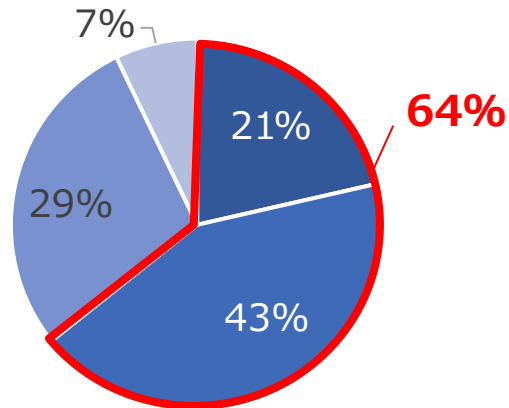
「Eco Tokyo」で掲載したエリアを旅程に含める可能性として、レンタサイクル64%・サイクリングツアー71%・カヤックツアー57%・ファームツアー65%となった。次ページのコメントより、旅行会社が保有する顧客属性によって回答に差が出ている。

<質問6>

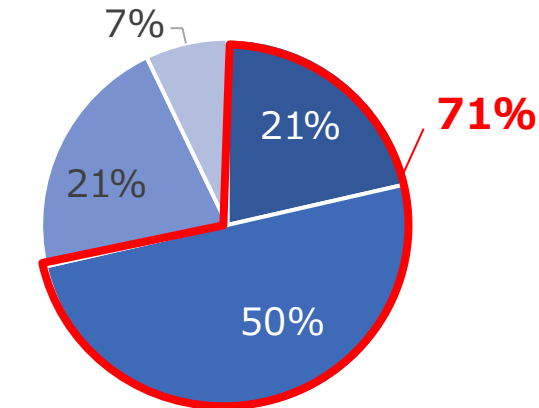
「Eco Tokyo」掲載内容について旅程に含める可能性はありますか？

(選択肢：可能性が非常に高い／可能性が高い／すぐ変更はしない／可能性が低い／すでに旅程に含まれている) n=14

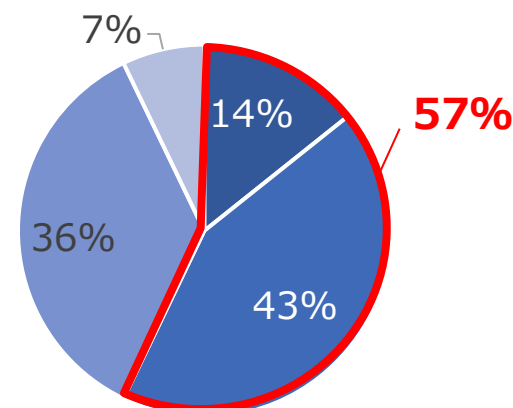
Tokyo Bike Rentals
レンタサイクル



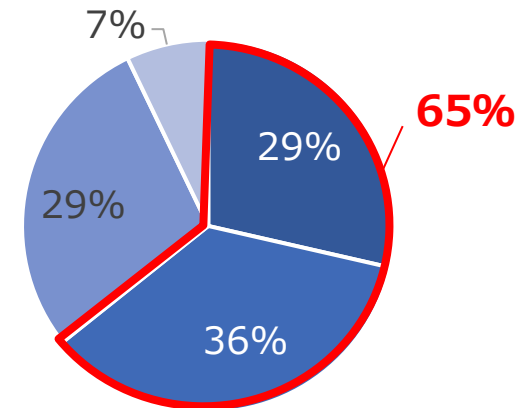
DIG Tokyo Tours
サイクリングツアー



Tokyo Great Kayaking Tour
カヤックツアー



Tokyo Terra Farm
ファームツアー



■ 可能性が非常に高い ■ 可能性が高い ■ すぐ変更はしない ■ 可能性が低い

<質問6>

「Eco Tokyo」掲載内容への評価ポイント（フリーコメント抜粋）

- 顧客向けに、環境負荷軽減の持続的な取り組みの商品として良いです。
- ニーズが高い顧客にとって、これらは優れた追加オプションになります。カヤックツアーはユニークなオプションとして際立っていました。
- 全てが印象的でしたが、サイクリングツアーはよりオーダーメイドで豪華に見えます。カヤックツアーは顧客にとって冒険的すぎるかもしれません。農場のアイデアが大好きです。
- この情報の中では、サイクリングツアーや屋台グルメ巡りが特に興味深いでしょう。
- 私たちの顧客は 65 歳以上で、過度に活動的ではない傾向があります。サイクリングやカヤックはどの旅程でもあまり取り上げられていません。私たちの顧客は豊かな農村地域に住んでいますが、多くの農村コミュニティを求めている、ファームツアーを検討します。
- 一部の顧客はカヤックを行うため、このオプションについて知っておくとよいでしょう。ファームツアーは、家族旅行を検討する顧客向けがいいと思います。
- この種のツアーは常に非常に人気があります。
- 60 歳または 70 歳以上の顧客にとっては、この体験は魅力的ではないかもしれません。
- 東京のサイクリングオプションを知っておくと便利でしょう。私たちはすでに日本の多くの農村地域での商品を提供しており、東京よりもそれらの地域での農業体験を含める可能性が高いかもしれません。

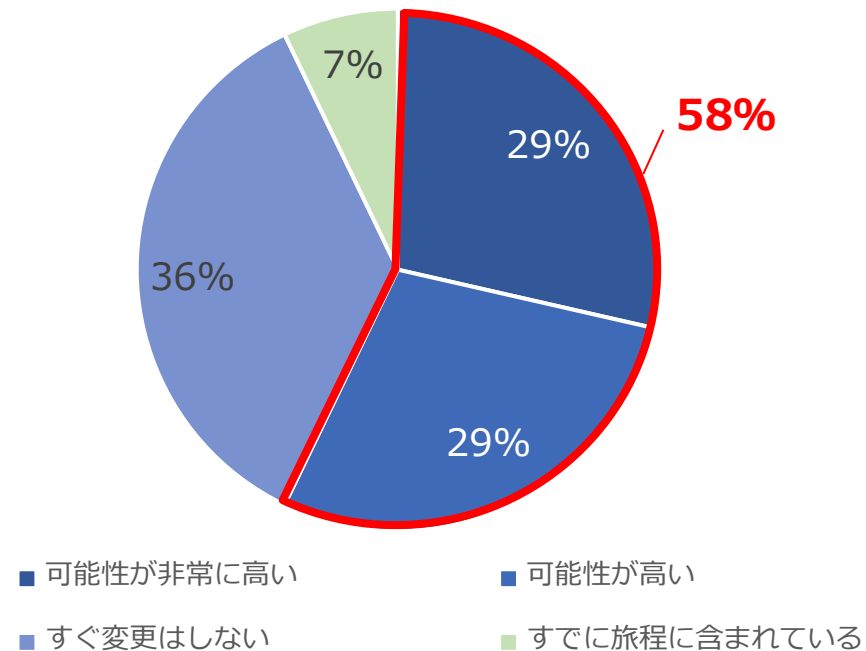
調査①「東京サステナブル情報マニュアル」に対するアンケート調査結果

「Boutique Hotels」で掲載したエリアを旅程に含める可能性は58%となった。次ページのコメントより、ブティックホテルのユニーク性に対する評価は高いものの、大人数のグループの顧客が多い場合は可能性が下がる。

<質問7>

「Boutique Hotels」掲載内容について旅程に含める可能性はありますか？

(選択肢：可能性が非常に高い／可能性が高い／すぐ変更はしない／可能性が低い／すでに旅程に含まれている) n=14



＜質問7＞

「Boutique Hotels」掲載内容への評価ポイント（フリーコメント抜粋）

- 個人的に私はこれらが大好きで、いくつかのブティックホテルのオプションを知ってうれしく思います。
- 私たちの顧客はブティックホテルが大好きで、すでに旅程にいくつかの旅館などを含めていますが、全ての旅館情報を持っていないので参考になります。
- 私たちのグループの人数は通常 20 人前後で、十分な部屋数を提供できるブティックホテルはほとんどありません。個人的には好きです。
- 私たちの顧客はブティックホテルが好きです。B&B（Bed & Breakfast）なのか、それとも朝食と夕食の両方を含んだプランなのか情報があると便利です。
- この宿泊施設を我々が販売推進すべきか確認するために、品質／コストを評価する必要があります。
- 私たちの顧客で特に訪日リピーターは、チェーンホテルとは異なる特別な何かを体験したいと考えています。
- 特別な宿泊体験の情報は需要があります。
- 顧客のオプションの多様性として、ブティックホテルの情報があるとよいです。
- これは間違いなくFITの顧客にとって興味深い情報ですが、50室の団体グループなどの対象にはあまり適していません。
- ブティックホテルのリクエストはありますが、規模が小さく部屋のタイプや特徴が多種多様であるため、グループで利用するのは難しい場合があります。少人数の個人旅行者に対する情報として、詳細を聞くのに役立ちます。

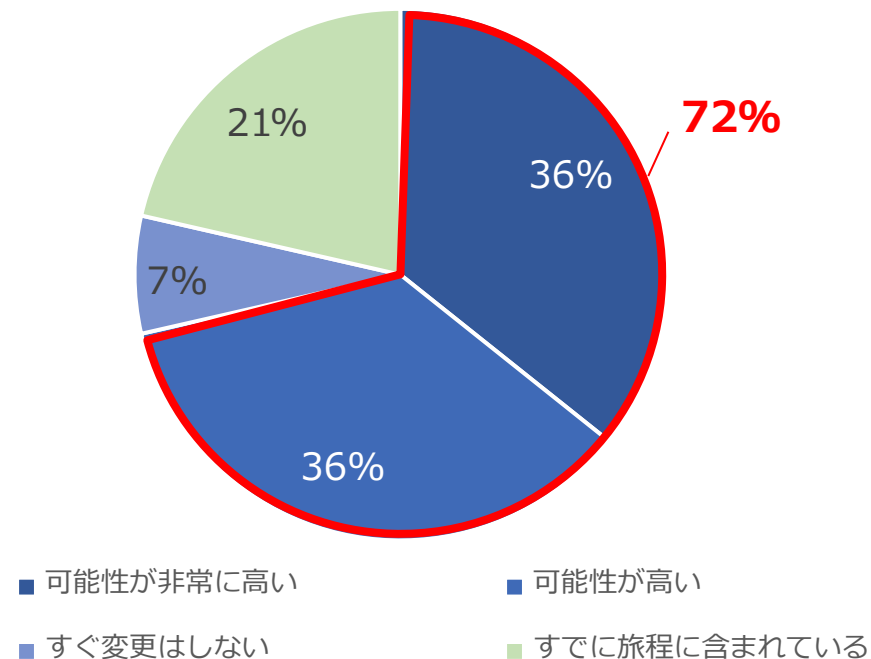
調査①「東京サステナブル情報マニュアル」に対するアンケート調査結果

「Responsible Hotels」で掲載したエリアを旅程に含める可能性は72%となった。次ページのコメントより、大規模なホテルチェーンに対して一定のグリーンウォッシングのイメージがあり、個々の対応ポリシーや取り組みを提示する必要があるようだ。

<質問8>

「Responsible Hotels」掲載内容について旅程に含める可能性はありますか？

(選択肢：可能性が非常に高い／可能性が高い／すぐ変更はしない／可能性が低い／すでに旅程に含まれている) n=14



<質問8>

「Responsible Hotels」掲載内容への評価ポイント（フリーコメント抜粋）

- 大人数のグループの場合、部屋数、部屋タイプの多様性、および宿泊施設のポリシーによるため、より詳細情報が欲しいです。
- 大手高級チェーンの持続可能性に向けた取り組みは、グリーンウォッシングの場合があります。大規模な高級ホテルは、定義上、あまりにも多くのリソースを利用しているため、正確には持続可能ではありません。
- 私たちはすでにこれらのホテルのいくつかと協力しているので、おそらくもっと多くのホテルを含めることができます。
- 東京広域エリアでホテルの複数オプションがあり、地元の料理やその他の責任ある環境に優しい側面にも焦点を当てていることを知って本当に良かったです。
- これらの宿泊施設のいくつかの情報をすでに知っており、さらに同様の品質／スタイル／価格帯の宿の予約手配もしています。このリストに掲載されている特定の施設に向けて予約を集中させる大きな動機となりました。
- 会社として、私たちは現在使用しているホテルの分析を行って、その持続可能性とポジティブな影響の旅行を調べています。私はこれらの選び抜かれたもののいくつかをすでに使用していますが、私たちが使用できる独自情報として知れたことがうれしいです。
- 品質／価格を確認する必要があります。
- 顧客は、地元の環境への責任も反映した持続可能な取り組みに注力しているホテルに滞在したいと考えています。
- これらの情報を最初を選択して、顧客に提供することを目指します。
- 世界、観光、ホテルに訪れる避けられない変化であるため、これらの新しいトレンドに関する知識と意識を構築することが重要です。食料、廃棄物、化石燃料などの変化を把握する必要があります。

調査①「東京サステナブル情報マニュアル」に対するアンケート調査結果

GSTC基準の分野にそった情報として、目標やビジョン、具体的に取り組んでいることが求められていることがわかった。

＜質問9＞

ホテル、体験施設、レストランは、どのような情報を提供する必要がありますか？（フリーコメント抜粋）

- ・ 飲食店や宿泊施設が、持続可能性にどう配慮しているかの情報。
- ・ 登録されている認証制度や取り組み。宿泊施設では、部屋の数、収容できるグループのサイズ、利用可能な日程、サステナビリティに関するポリシーと情報をウェブサイトに掲載して当社が簡単にアクセスして顧客と共有したいです。必要に応じて FAQ も掲載してください。
- ・ 地域コミュニティにどのように還元し、分散化と混雑緩和にどのように貢献するか。
- ・ 持続可能性に関するポリシーとコミュニティへの還元方法についての説明。
- ・ 倫理的な食品資源／プラスチック使用ポリシー／人権ポリシー。
- ・ 地元産の食品を強調し、環境に優しい建材を使用し、地域社会を支援していること。
- ・ 明確な統計に裏打ちされた持続可能な対応方針。前年比で使い捨てプラスチックを削減／信頼できるエネルギー源の使用で ●●% 増加など。
- ・ JRやその他のさまざまなフリーパスを利用する方法など。
- ・ 個人かグループ向けの情報か、ガイドをこちらで手配できない場合は、簡単に見つけることができるか。営業時間がそこで体験できること。対象のターゲットは、ほぼ全てなのか、ハイエンドの顧客を対象としているのか。£/USDの表記。
- ・ アクティビティ体験に関しては、その活動が日本で継承されている遺産の一部であって体験の独自性をウェブサイトで説明する必要があります。ホテルは、持続可能な状態にするために何をしているのか言及する必要があります（例えば、歯ブラシと歯磨き粉を部屋に置かず、本当に必要な人のためにロビーに置いているなど）。
- ・ 水のろ過の例、廃棄物の処理と廃棄物管理が見られるのは良いことです。
- ・ 古いモデルから、食品、廃棄物、プラスチックなどの責任ある管理への移行の進捗状況。
- ・ より持続可能な選択肢に向かって進むというビジョンまたは目標。
- ・ 食料資源に関係する重要な興味深い話／持続可能な経験に焦点を当てた話、持続可能な慣行に基づいた役割を持つスタッフの紹介。
- ・ 持続可能性に積極的に関与しているスタッフを示す画像。
- ・ 使い捨てプラスチック、食品廃棄物への対処方法、チャリティー関連、ジェンダー平等、地元産の食材。

速報：「東京サステナブル情報マニュアル」の即時効果（2023年2月末時点）

「東京サステナブル情報マニュアル」を海外の旅行会社に提示することで、日本への視察ツアーの旅程に追加され、2022年12月～2023年1月の間で**6社**が高円寺へ訪問。そのうち1社が販売を開始。
海外メディアの取材依頼**3社**、そのうち1社は2023年2月に訪問して取材記事を準備中。



調査②情報を整備すべき観点についての 深掘り調査結果

調査②情報を整備すべき観点についての深掘り調査概要と結果サマリ

【調査対象】

欧米豪のミドル富裕層を顧客としていて訪日旅行商品を取り扱っている旅行会社（4社）
Different Japan、Audley Travel、Inside Japan Tours などの事業開発マネージャー・商品責任者中心に深掘り調査を実施

【調査時期】

2022年12月～2023年1月

【調査手法】

「東京サステナブル情報マニュアル」を提示して、インタビュー形式で具体的に響いた箇所についてヒアリング
複数のウェブサイトをチェックして、評価できるポイントをヒアリング

【調査結果サマリ】

旅程に追加したいと思う共感接点となる情報整備ポイントは、下記7つあることが判明

ビジョン

人間味

地域コミュニティ

歴史ストーリー

地域への貢献

具体事例

世界基準の認証制度

「Slow Tokyo」

- 高円寺の地元の銭湯と谷中の宿のHanareを通じて、**地域コミュニティ**に没入できる旅行として際立っています。銭湯体験は実にユニークで文化的な旅行者やコミュニティ形成に関心のある人にとっては、間違いなくぴったりです。マニュアルで**人やコミュニティに焦点**を当てていることは素晴らしいことです。エリアに個性を加えるだけでなく、ツアーオペレーターが顧客とのやり取りをより簡単に行えるようにします。銭湯の歴史と文化的重要性を加えるのも良いことです。その場所に物語を感じさせてくれます。
- 目立ったのは高円寺だと思います。高円寺は、原宿の竹下通りや周辺の通りよりも型にはまっていなく、本格的な街歩き体験の隠れた宝石のように聞こえます。高円寺のガイドさんを通じて、**地元の文化**を紹介してもらえることは、旅行会社を通じた代理予約での追加費用を正当化できる方法の一つです。

「Rural Tokyo」

- 御岳は、幅広い顧客に選択肢として提供しやすいです。なぜなら、伝統的な日本の宿坊滞在を提供し、持続可能な観点として文化的保護の側面を持っているからです。宿坊やハイキング推奨ルートを紹介してくれるので、ツアーオペレーターも紹介しやすい。18代目の馬場さんの**文化を継承する思い**を含めた紹介もよく、地域の重要性を感じ、支援したいという気持ちを私たちに与えてくれます。
- 多くの人は、旅行で必ずやるべきことのひとつとして富士山を見たいと思っています。限られた時間内で全てを済ませたい旅行者にとって、日本のハイライトであり、便利な場所にある一つの場所に凝縮することができます。御岳のハイキングコースの中に富士山が見渡せる場所として紹介していることは良いです。また「untouched nature（手つかずの自然）」「cultural immersion（文化への没入）」「spiritual retreat（精神的なリトリート）」のようなキーワードを使った説明は、共鳴する言葉です。
- 青梅のまるごとホテルは素晴らしいコンセプトです。東京の中心部から離れた田舎体験のため、おそらくニッチですので顧客属性やニーズに合わせた提案が必要です。鉄道路線のアイデアと**地方のコミュニティを支援**することに焦点を当てていることは、非常にユニークであり日本をある程度よく知っている若い顧客に適しています。

「Made in Tokyo」

- Arts & Crafts -

- 江戸切子の体験はおそらくニッチで、成熟した旅行者向けですが、素晴らしいクラフトが私にとって際立っていました。
- チームラボの体験でも、生花の胡蝶蘭を活用したアートはより成熟した顧客に響きます。
- 能楽師に出会える体験を、顧客にアピールしたいです。最古の演劇の一つとして[文化遺産継承](#)として言及することも良いです。
- チームラボ プラネッツのユニークな没入型の視覚体験で、1万3,000 の生花の胡蝶蘭を使ったアートは多くの人々に推奨できます。ビーガンラーメンは、若い旅行者に関心がある可能性が高いです。

- Indigenous Culinary Arts -

- 即今（sokkon）の茶懷石料亭の体験は、「わび」のような文化を[歴史背景から丁寧に説明](#)されることでイメージが明確になり魅力的です。
- あめ細工は、家族連れや大人の女性旅行者にとっても楽しそうです。東京ならではのかわいい体験であり、[文化遺産](#)としてもっとお勧めしたいと思います。
- 良い体験ばかりですが、あめ細工は誰でも楽しめるように思えます。

- Responsible Restaurants -

- オプションとして、[非ビーガン／ベジタリアン](#)が含まれているのは良いことです。肉や魚を食べたいと思っている顧客も実はかなり多いので、[地元で調達された食材](#)が食べられるレストランのオプションがあることは素晴らしいです。
- 松乃鮨の江戸前寿司は興味があります。[伝統文化の継承](#)や、食材について丁寧に説明しながらの食事提供、そして急速に[枯渇する資源を守る](#)ためにblue seafood guide に沿って倫理的な調達をしている事実も良いです。東京ならではの江戸前スタイルなのもいいですね。

調査②情報を整備すべき観点についての深掘り調査結果（マニュアルに関するコメント）

「Eco Tokyo」

- サイクリングツアーはいいですね。地域社会を尊重する外国人居住者がいて案内してくれることも素晴らしいことです。現時点での旅行における重要なバズワード「[socially responsible（社会的責任）](#)」「unique（ユニークさ）」「immersive（没入感）」の言及も良いです。私は間違いなく顧客のためにこのツアーを予約したいです。
- カヤックツアーの満開の果てしない桜の木が並ぶ川や運河をカヤックで巡るアイデアは、とても魅力的です。

「Boutique Hotels」

- 伊東旅館で説明されている[文化的要素と精神性](#)が本当に好きです。顧客はその土地ならではの体験を求めています。
- 伊東旅館は、お客さまの期待を超えた驚きと喜びを与えてくれる特別な場所のようです。伝統的な建物、ゲストやスタッフへのアットホームな挨拶の仕方、伝統的なパフォーマンスを見たり聞いたりできること、VIP ルームを備えた日本庭園のサービスなど全てが素晴らしいものです。
- 行燈旅館の「地元の人をもてなす」という考え方もとても[心温まるストーリー](#)です。

「Responsible Hotels」

- 京王プラザホテルをはじめ、[SDGsに関するポリシー](#)は役立ちます。GSTCなど[認証制度](#)の情報があれば情報収集の時間が大幅に節約できます。認証制度だけでなく、芝パークホテルで挙げられているような[環境に関する具体的な取り組み例](#)が役立つと思います。
- GSTCの認証制度を持っている情報はとても助かりますが、[世界基準の分野につながる取り組み例](#)や、他の認証制度でもその制度の説明とともに記載があれば、信頼度は上がります。
- 私たちはすでにこれら多くのホテルを顧客に提案しているため、サステナブルポリシーが実施されていることを改めて知っておくことは良いことでしょう。
- ホテル雅叙園東京は、私たちの顧客にとって素晴らしい選択肢です。あまり知られていない目黒エリアに訪問してもらう良い方法です。
- NOHGA HOTEL（上野・秋葉原）は若い顧客層にお奨めしたいです。宿泊施設の特徴や中心街に近いこと、持続可能な取り組みも彼らの好みと一致しているようです。

「サステナブル情報整備指南書」作成方針と内容

【指南書作成の目的】

観光関連事業者が効率的・効果的に情報を整備するためのサポートとなることを目指す。そのために、サステナビリティに関する取り組みステップ、情報整備の注力ポイントを要約して「サステナブル情報整備指南書」を作成

【指南書の情報】

取り組みステップ案と具体的に情報を整備する7つのポイントを提示。「東京サステナブル情報マニュアル」で掲載した事業者のウェブサイトを対象に、具体的に響きやすいポイントとセットで好事例も紹介

【対象メディア】

観光関連事業者のウェブサイトを中心に

※海外旅行会社・ツアーオペレーターは、顧客に訪日旅行の行程や詳細情報を提案するために各事業者のウェブサイトをチェックすることがあり、機会損失を起こさないようにするため情報整備しておくことが重要

【補足情報（APPENDIX記載）】

海外の好事例については、GSTC基準の分野とともに補足情報として記載

「サステナブル情報整備指南書」 取り組みステップ

ウェブサイトの情報を整備する前に、1～4のステップで自社の強みとなるメッセージの明確化、メッセージと連動した販売商品として成立しているかを確認する。その上で5の情報整備へ進むことを推奨。

- 1 GSTC基準のどの分野と相性が良いかをチェック（社会経済／文化／環境）**
- 2 持続可能な地域を作るためにどんなことに寄与したいか、伝えたいメッセージを検討**
- 3 2のメッセージは、自エリアならではの独自性があるかをチェック**
- 4 2の文脈を感じられるような、高付加価値化された販売商品になっているかをチェック**
- 5 旅行会社・旅行者が探しやすいように情報をウェブサイト中心に整備
（2のメッセージをリアルな言葉で表現）**

**7つのポイントを提示！
好事例とともに解説**

「サステナブル情報整備指南書」 7つの情報整備ポイント解説

ビジョン

- ・ 社会経済／文化／環境のどの分野で、どんなことに寄与したいのか思いを伝える
- ・ 取り組みのポリシーを掲載する

人間味

- ・ 目標や思いを、その人の名前や写真とともに一人称の言葉で伝える

地域コミュニティー

- ・ 地域独自のコミュニティーが、地域や住民とどのように共存しているか伝える

歴史ストーリー

- ・ 商品の裏に隠れている歴史背景や、取り組み理由をストーリーとして伝える

地域への貢献

- ・ 商品が、地域にどのような貢献をしているかを伝える

具体事例


- ・ 具体的な取り組みの事例まで紹介する

世界基準の認証制度

- ・ 認証を取得している場合は、その認証が世界的に有効とされている根拠とあわせて記載する。認証の詳細が分かるリンクも貼る

DIG Tokyo Tours (サイクリングツアー)

<https://www.digtokyotours.com/about>



ABOUT DIG TOKYO TOURS

Scouring the internet for that perfect **bike tour in Tokyo** or intimate **street food outing** can be an overwhelming process.


Will I enjoy the experience? Is the operator reputable? Am I paying for a service that I could easily undertake myself?

DIG Tokyo Tours, a sole operated Tokyo cycling, street food and walking tour provider, sets out to remove these uncertainties by ensuring both you and your travelling companions an unforgettable local experience, unique to any other operator in the city.

From the moment of initial enquiry, to wishing you well with your onward travel, DIG is always by-your-side to ensure your complete satisfaction and enjoyment.

Whether it be:

- Jumping on a salvaged 'mamachari' bicycle for an **immersive bike ride** through the twisting backstreets and eclectic Tokyo neighbourhoods of Nakano, Koenji and Asagaya.
- Loosening your belt buckle and discovering the mouth-watering cuisine, urban landscapes and boisterous 'yokocho' of the inner-west on an **intimate walking and street food tour**.
- Riding Tokyo's hidden alleyways, congested sidewalks and tranquil riverside bicycle paths on a **Japanese classic road bike**, meticulously handcrafted by a master frame builder.
- Putting up a bar stool at a **hole-in-the-wall izakaya** along the atmospheric JR Chuo Line and rubbing shoulders with inquisitive locals over a beer and a fistful of yakitori skewers.
- Bouncing between family-friendly neighbourhood attractions on a **Tokyo family bike tour** or more accessible walking and street food experience.



ABOUT YOUR GUIDE

Hi, I'm Andy

Riding from Melbourne Australia, my young family and I reside in the laidback but eclectic Tokyo neighbourhood of Koenji.

I have a passion for Japanese classic bicycle restoration, outdoor expeditions, a hot bowl of ramen, a cold beer and exploring the endless local treasures, personalities and culinary delights scattered throughout this bewildering side of Tokyo.

As a passionate traveller, I've always found myself shying away from organised tours, particularly the large group variety.

- Refreshed itineraries glued to the tourist trail.
- Visits to uninspiring attractions and restaurants the tour operator has a mutual relationship with.
- The general sensation of being churned through the system as a 'booking number'.

I launched DIG Tokyo Tours as an alternative to this tour model, with the aim of crafting unique, socially responsible and immersive experiences in the captivating local neighbourhoods on Tokyo's inner west-side.

So jump on a bike or join me on foot and experience an honest local insight into life here in Tokyo away from the tourist crowds.

Andy!

<海外旅行会社が評価したポイント>

- ✓ 自らの思いをメッセージとして伝えている
- ✓ ビジョンが含まれている
- ✓ 持続可能な観光を意識した体験を作っている

松乃鮨

<https://matsunozushi.com/en/history/>

<海外旅行会社が評価したポイント>

- ✓ 「Our history」のタブがあってすぐ見つけやすい
- ✓ 創業時にどのような場所だったか歴史背景の説明がある
- ✓ 代ごとに継承している家族経営のストーリーがある
- ✓ 人物に焦点を当てたクラシックな写真イメージに共感

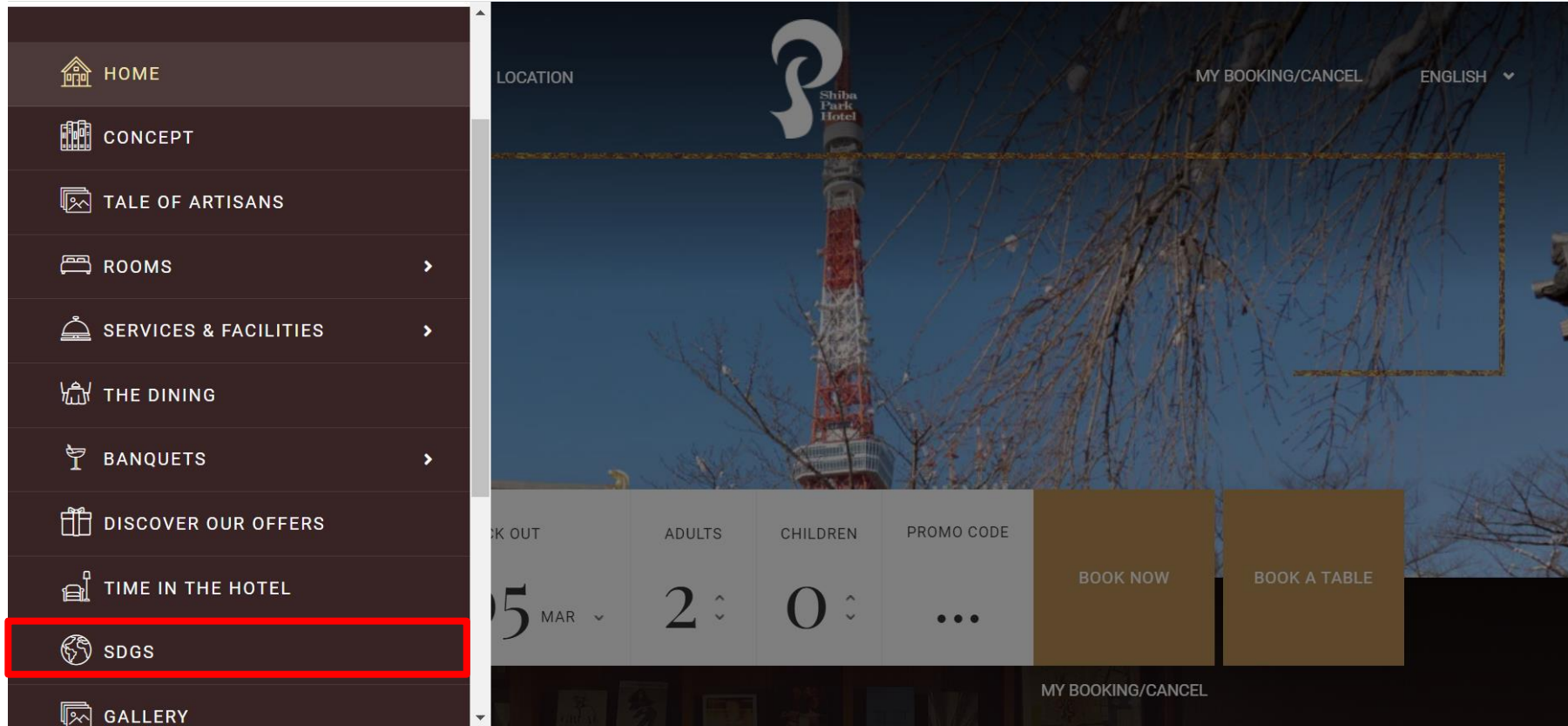
hanare <https://hanare.hagiso.jp/en/>



＜海外旅行会社が評価したポイント＞

- ✓ コンセプト「街全体があなたのホテルになる」が素晴らしい
- ✓ 谷中への真の情熱と愛を伝えている
- ✓ 周辺地域とのつながりがどのように機能するか具体的に説明している

芝パークホテル <https://www.shibaparkhotel.com/en/>



芝パークホテル <https://www.shibaparkhotel.com/en/sdgs/>

SDGs activities in Shibapark Hotel

We have set four key goals that aim to contribute to the 17 Sustainable Goals (SDGs) as follows.

We will steadily implement initiatives to fulfill our social responsibility to our guests, employees, business partners and communities.

Theme	Goals	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
Environment/Climate	Contribution to local development, strengthening the regional economy, and contributing to the environment																	
Creating a comfortable environment	Providing a comfortable environment for guests, employees, business partners and communities																	
Contribution to society	Contribution to society through various activities																	
Health and safety	Ensuring safety and security																	
Theme	Goals	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
Environment/Climate	Contribution to local development, strengthening the regional economy, and contributing to the environment																	
Creating a comfortable environment	Providing a comfortable environment for guests, employees, business partners and communities																	
Contribution to society	Contribution to society through various activities																	
Health and safety	Ensuring safety and security																	

3. Environmental initiatives

<Goal>
Creation of shared values, Realization of a society symbiotic with nature, Creation of a respectful society Ethical consumption initiative that raises people, society and the global environment into consideration



Environmentally friendly with plant-based ingredients

All guest rooms are equipped with Millennium Organics Skin Label amenities, which contain more than 80% plant-based mineral-derived ingredients. The products are fragrances with natural essential oils without synthetic fragrances, are without PEGs, and are made from carefully selected raw materials according to organic standards. The ingredients are formulated to have a low environmental impact as a whole.

Bath amenities / Hand wash

1. Products free of petroleum-based aromatic, paraffin/MT, synthetic colorants, synthetic polymers, animal ingredients, and mineral ingredients
2. Products not tested on animals
3. Products containing 80% or more plant- and mineral-derived ingredients



Measures to combat global warming

Reduction in the use of plastic products



Use of recyclable materials

"Eco-friendly Cleaning Schedule" (Eco-friendly Cleaning Schedule, Paper/Venety VLS, Body towel)
This is an amenity that reduces the burden on the environment by approximately 60% in terms of plastic usage fee by using a product made of raw materials blended with natural stress.

- Body towel mixed with raw materials / Reduced plastic usage by approximately 60% (from Shimizu Co., Ltd. PP single raw material product)
- Bedding: OP film portion replaced with paper / Reduced plastic usage by 25% (reduction rate from Shimizu Co., Ltd. OP matt packaging)

Use of certified organic products (tea)

The use of tea, a carefully hand-picked and produced aromatic organic tea, is always available.



Bamboo materials used for in-room products

We actively use sustainable bamboo materials, which are considered earth-friendly, biodegradable, and have antibacterial properties.

Shower, brush, bathroom trash bin, two trash boxes, hair dryer rack, amenity box, roomed holder, and tissue case made of 2 kinds of bamboo (bamboo wood).

Products made by Yamashita Kogyo Co., Ltd. in Japan except for the brushes.



Shower (bamboo brush)

Pen for guest room use bamboo material for the body, which reduces the use of plastic compared to regular pens.

Laundry Bag, Bedding Bag

Laundry Bag is a new material based on limestone, to use as a bag to reduce the amount of plastic used.



Eco-friendly cleaning service

We ask our guests staying for consecutive nights to help us contribute to the environment by minimizing the use of organic detergents and other cleaning products generated during the cleaning process.

Eco-friendly cleaning service does not include room cleaning (laundry, bed making and sheet changing, bathroom cleaning). For guests staying 2 nights and no less than 2 guest rooms, we have a cleaning service, including amenities and cleaning trash are available to help a day's use. For hygiene reasons, we clean the rooms every 2 days during stays of 2 nights and more. By reducing bed linen and amenities instead of replacing them, we are committed to environmental conservation by reducing CO2 emissions, water resources, electricity, and waste.

Eco-friendly Cleaning Schedule

1-Day	Cleaning
2-Day	No Cleaning
3-Day	Cleaning
4-Day	No Cleaning
5-Day	No Cleaning
6-Day	Cleaning




Environmentally friendly products (coffee beans)

<海外旅行会社が評価したポイント>

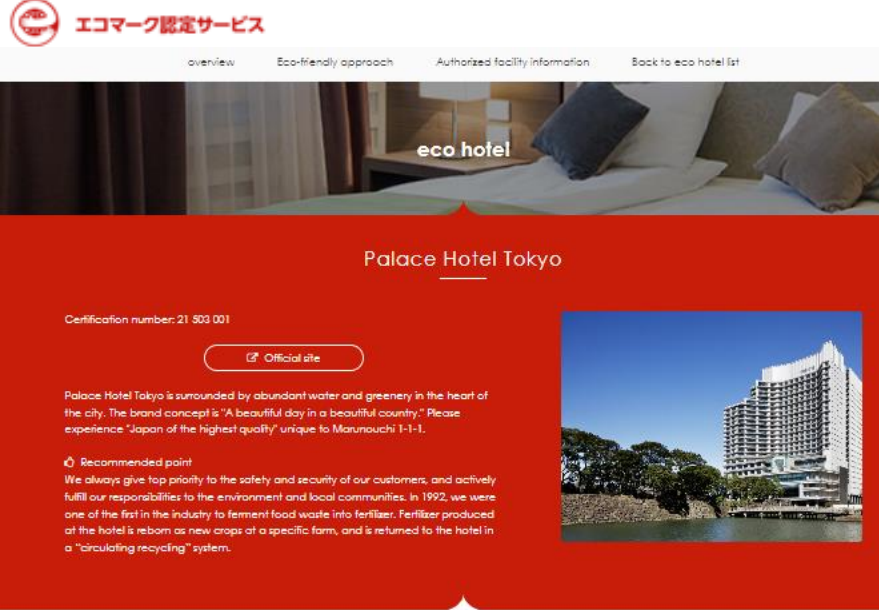
- ✓ ウェブサイトトップ画面からの「SDGs」タブからすぐ情報を見つけることができる
- ✓ 幅広いSDGsをカバーしている
- ✓ すべてのSDGsについて明確な例が示されていて、「グリーンウォッシュ」でなく、持続可能な観光に情熱を注いでいることが伝わる

パレスホテル東京 <https://en.palacehoteltokyo.com/hotel-overview/actions-for-sustainability/>



Other Environmental Initiatives

- 2020 - | Adoption of FSC-certified paper on the hotel brochures and paper bags, supporting responsible forest management and preserving the forest.
- 2021 - | With an exclusive contract with the organic vegetable farm Hakushu Toen, French Restaurant **Esterre** provides a safe and secure culinary experience, with locally grown products.
- 2021 - | Using locally grown vegetables from farms within Tokyo, Palace Hotel Tokyo supports the preservation of farmlands or the metropolitan area while also reducing the environmental impact of long-distance transportation.
- 2021 - | In an effort to reduce the environmental impact from our food, All-day Dining **Grand Kitchen** offers environmentally-friendly menus using meat substitutes.
- 2021 | Palace Hotel Tokyo acquired the **Eco Mark certification** "Hotels and Inns Version 2," awarded to facilities engaged in environmental initiatives on a high level, such as reducing food loss, contributing to the community and society, in addition to other basic environmental measures.



Eco Mark 認定サービス

overview Eco-friendly approach Authorized facility information Back to eco hotel list

eco hotel

Palace Hotel Tokyo

Certification number: 21 503 001

[Official site](#)

Palace Hotel Tokyo is surrounded by abundant water and greenery in the heart of the city. The brand concept is "A beautiful day in a beautiful country." Please experience "Japan of the highest quality" unique to Maunouchi 1-1-1.

Recommended point
We always give top priority to the safety and security of our customers, and actively fulfill our responsibilities to the environment and local communities. In 1992, we were one of the first in the industry to ferment food waste into fertilizer. Fertilizer produced at the hotel is reborn as new crops at a specific farm, and is returned to the hotel in a "circulating recycling" system.

Eco-friendly approach

- Eco activities with customers
- Use eco-friendly fixtures and equipment
- reduce waste
- Energy saving
- saving water
- Eco facility management

- Disseminate information on environmental initiatives through the museum and website.
- We provide environmentally friendly food. (Organic vegetables)
- Eco-friendly products are used for room fixtures. (Energy-saving TV, FSC-certified toilet paper, etc.)
- Separate and recycle paper, PET bottles, beverage cans, and glass bottles.
- Grasp energy (electricity, gas, etc.) and water usage, and implement measures to conserve energy and water.
- Introduced LED lighting.
- Install solar panels on the roof.
- You can choose not to change sheets and towels during consecutive nights.
- Cooperated with environmental activities conducted by international environmental NGOs (bird protection activities of BirdLife International Tokyo).

<海外旅行会社が評価したポイント>

- ✓ エコマークの説明とともに取得した経緯を説明している
- ✓ この認証制度がどの世界基準で設定されているか詳細が分かるように、具体的な説明ページのリンクを貼って飛べるようにしている

アメリカ カリフォルニア州 アクティビティ

内容 : ローカルエコツアー

GSTC基準 : 社会経済、文化、環境

<https://www.realsanfranciscotours.com/eco-travel/>

<https://www.thereallosangelestours.com/eco-travel/>

オーストラリア メルボルン アクティビティ

内容 : アドベンチャーアクティビティ

GSTC基準 : 環境

<https://wildadventuresmelbourne.com/beyond-sustainability/>

グローバル GOOD HOTEL

内容 : 社会貢献型ホテル

GSTC 基準 : 社会経済、文化

<https://goodhotel.co/>

<https://goodhotel.co/sg-dg>

オランダ アムステルダム Conscious Hotels

内容 : エコホテル

GSTC 基準 : 社会経済、環境

<https://www.conscioushotels.com/>